木口福祉財団・平成 29 年度地域福祉振興助成事業

発達障害児・者向け理美容技術プログラム策定事業

報告書

２０１８年３月

特定非営利活動法人 そらいろプロジェクト京都

協力：社会福祉法人 南山城学園

目　次

１　はじめに　3

２　事業の概要　4

（１）発達障害児・者向け理美容技術プログラム策定委員会（概要）　5

発達障害児・者向け理美容技術プログラム（例）　6

（２）発達障害者のヘアカットに関するアンケート調査結果まとめと考察　7

（３）理容師・美容師のための「発達障害児・者のヘアカット講習会」

開催要綱　11

講義概要

講義１「発達障害とは」　13

講義２「対談／当事者・保護者の立場から」　19

講義３行動の意味を知る/支援の方法（構造化など）」　22

講義４「ヘアカット演習」　27

ツール（スマイルカット準備シート、カウンセリングシート、カルテ）　32

３　明日へのメッセージ　36

＜資料編＞

発達障害者のヘアカットに関するアンケート調査結果（集計）　38

そらいろプロジェクト京都の紹介　66

1　はじめに

特定非営利活動法人そらいろプロジェクト京都（以下「そらプロ」という）は、発達障害のため、はさみやバリカンを怖がってヘアカットができない子ども達が自分で理・美容室に行けるようになることを主な目的としています。

そらプロでは、2013 年以降、延べ 630 人の理・美容師を対象に、全国で 17 回の講演活動を行ってきました。しかし、講演活動だけでは活動の拡がりに限界があるため、客観的根拠に基づく技術プログラムを策定することにより、全国すべての理・美容師が発達障害に関する基礎知識を身につけることを願ってきました。

この度、公益財団法人　木口福祉財団の「平成 29 年度地域福祉振興助成」事業に選定され、事業費 100 万円の助成をいただくとともに、本事業の企画運営について社会福祉法人南山城学園の全面的バックアップをいただくこととなり、上記の願いを実現する第一歩を踏み出すことができました。

今回の事業成果を関係者に広くお伝えし、近い将来、すべての理美容師が発達障害に関する基礎知識を学んでから資格を取得する日が来るよう、皆様のお力添えをいただきながら進めていきたいと考えています。

最後になりましたが、本事業の実現にあたって、貴重なご助言と応援をいただいた慶應義塾大学経済学部の駒村康平先生に心より感謝申し上げます。

2018 年 3 月

特定非営利活動法人そらいろプロジェクト京都
理事長　赤松　隆滋

２　事業の概要

（１）「発達障害児・者向け理・美容技術プログラム」の策定

理･美容師、発達障害の専門家、保護者などを委員とする、「発達障害児・者向け理・美容技術プログラム策定委員会」を４回開催し、「発達障害児・者向け理・美容技術プログラム」を策定した。

（２）「発達障害者のヘアカットに関するアンケート調査」の実施

上記プログラムを策定するにあたって、発達障害の当事者（本人)、保護者等を対象とするアンケートを全国で実施し、プログラムを策定する基礎資料とした。

（３）「発達障害者のヘアカット講習会」の開催

全国の理･美容師を主な対象に、上記プログラムに基づく講習会を東京・京都の２会場で開催した。

（４）「発達障害児・者向け理・美容技術プログラム策定事業報告書」の作成・配布

本事業の報告書を作成し、厚生労働省など関係行政機関、理･美容師養成施設関連団体、発達障害当事者団体などに配布し、普及を図った。

（１）発達障害児・者向け　理美容技術プログラム策定委員会（概要）

【委員会構成】（敬称略）

	氏名	所属等
座長	南　多恵子	京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科 社会福祉専攻　講師
委員	西　初美	京都美容専門学校　校長
委員	元村　祐子	一般社団法人 UnBalance 代表、当事者・保護者
委員	澤　月子	南山城学園　障害事業局スーパーバイザー
委員	赤松　隆滋	そらいろプロジェクト京都　理事長
オブザーバー	橋口　亜希子	一般社団法人日本発達障害ネットワーク　事務局長
事務局	西田　周二 岩田　貞昭 佐々木　明子	南山城学園　法人本部　事務局長 事務局企画広報課長 事務局企画広報課副課長

【場所】南山城学園かぜの詩保育園　2 階研修室

＜各回議題＞

【第 1 回】平成 29 年 8 月 29 日（火）

・　本委員会の目的（そらいろプロジェクト京都の活動状況含め）

・　当事者、保護者の声（委員、オブザーバー発言）

・　当事者、保護者アンケートの内容検討

・　技術プログラムの項目検討

【第 2 回】平成 29 年 10 月 13 日（金）

・　当事者・保護者アンケートの確定

・　講習会開催要綱（案）の検討

【第 3 回】平成 29 年 11 月 27 日（月）

・　当事者・保護者アンケート進捗報告

・　理美容師向け講習会（モデル研修）の件

・　アセスメント手法（カルテ）の検討

・　教科書掲載に向けての今後の動き

【第 4 回】平成 30 年 3 月 13 日（火）

・　理美容技術プログラムの確定

・　事業報告書（案）の検討

・　今後の活動について

発達障害児・者向け理美容技術プログラム（例）

「発達障害児・者向け理美容技術プログラム策定委員会」では４回の会議、２回の講習会を開催し、下記のプログラム（例）を策定した。

時限	内容	項目
第１時限 （60 分）	障害特性の理解	発達障害とは、どのような障害かを理解する。 当事者の状況や気持ちを理解する。 発達障害の方に必要な配慮の基本を学ぶ。 障害者差別解消法、合理的配慮の考え方を知る。
第２時限 （60 分）	当事者・保護者の立場の理解	なぜヘアカットが困難なのか当事者の悩みを理解する。 保護者はヘアカットにどのような悩みを持っているかを理解する。 理美容師に期待される支援は何かを知る。
第３時限 （60 分）	障害特性に応じた対応法の理解	いわゆる「不適応」行動にも必ず意味があることを知る。 発達障害の方を不安にさせないための環境の工夫、周囲の意味を理解できるような工夫を知り、実際に体験してみる。
第４時限 （60 分）	理美容師の心構え 発達障害のアセスメント方法	理美容師としての心構えを知る。 どのような点に配慮すべきかを聞き取る方法、ツールの使い方を理解する。
第５時限 （60 分）	ヘアカットの実務対応	発達障害の方のヘアカット場面の心理を理解し、アプローチ方法を知る。 構造化・視覚化をヘアカットにどのように活用するかを理解する。

（２）発達障害者のヘアカットに関するアンケート調査結果まとめと考察

◆調査設計

今回の調査は、発達障害当事者からみたヘアカットに関する意識や実態を把握し、理美容における課題を顕在化することを目的に実施されたものである。これまで、本テーマに関する理美容師側からみた調査はあったが[1]、当事者の声をまとめたものはなかった。特定非営利活動法人「そらいろプロジェクト京都」赤松理事長が経営する美容室「ピースオブヘアー」で実践するスマイルカット[2]利用者だけでなく、広く当事者の声を集積することで、理美容に関する全国的なニーズを把握することができ、教科書掲載に向けた 1 つの根拠として大きな影響を与える。

そこで、本調査では、一般社団法人「日本発達障害ネットワーク」（以下、JDDnet）の協力により、JDDnet のホームページ上及び会員メーリングリスト等で全国の会員組織に呼びかけていただいた。他にも「そらいろプロジェクト京都」関係者が SNS を活用した呼びかけも行った。アンケートは web 上で回答できるようにし、希望者には質問紙を送付するようにした。

実施時期は、2017 年 11 月 15 日～2018 年 1 月 15 日で、実施主体はそらいろプロジェクト京都、調査項目は①書き手と対象者について、②対象者の心身の状況、③ヘアカットの場所、④理美容室での困りごと、⑤家庭内で理美容をしている場合、⑥その他の 6 点である。

◆調査結果

最終的に回答は、36 都道府県と海外からも 1 件あり、合計 373 件集まった。回答が多かった県は大阪（53 件）、京都（51 件）、東京（24 件）の順であり、大都市圏が目立った。

①　書き手と対象者について

調査を実際に記入した人は、「父または母」が 72%と最も高く、次いで「本人」の 17%、「子ども」の 8%、「その他」3%と続く。子どもが記入している場合は、自身の保護者が対象者であることが伺える。

調査で対象となった方の満年齢をみると、「7～12 歳」が 24%、「0～6 歳」が 19%、「20～29 歳」が 17%、「13～15 歳」「16～19 歳」がともに 12%、「30～39 歳」が 9%、「40～49 歳」が 5%、「50～59 歳」が 2%となっている。幅広い年代から返信はあったが、小学生～未就学の児童で 43%、19 歳までの年代をすべて足すと 84%と、児童～若い世代の対象者の意見が多いことがわかる。

男女比は、「男性」74%、「女性」26%であった。

②　対象者の心身の状況

次に、診断名の有無を尋ねたところ、「診断あり」92%、「診断なし」が 8%であった。これは、JDDnet の会員組織に対するアンケートであることが影響していると考えられる。構成メンバーには当事者組織も含まれており、既に診断を経て発達障害を自覚する参加者が多数いる。そのため、大半の回答者からこの結果が返ってきたのだろう。

その「診断あり」の場合の診断名で最も多いのは、「自閉症スペクトラム（PDD)」が最多の 204 名、次いで「広汎性発達障害」「ADHD」「知的障害」「トゥレット症候群」「その他」と続いた。この診断名は、アンケートの書き手自身が記入された主たる診断名であり、それをそのまま尊重した結果を記している。2013 年に DSM-5 というアメリカ精神医学会の診断基準の改訂に伴い、広汎性発達障害は自閉症スペクトラムに統合される捉え方となっているが、この診断名は、アンケートの書き手自身が記入した主たる診断名であり、それをそのまま尊重した結果を記している。

また、自身の特徴として「感覚が過敏」「見通しが持ちにくい」「自分の意思を伝えることが苦手」がほぼ横並びに多く、「相手の言っていることの理解が苦手」「静かに座っていることができない」「感覚が鈍い」「その他」と続く。

自由回答欄では、ヘアカットを苦手にしていると思われる要因を尋ね、多数の声があがった。一部をここで紹介しておく。

・バリカンの音が苦手。
・ハサミが怖い。
・切った髪が顔にかかるのが嫌だ。
・雑音（他の人の会話や、ドライヤーの風音など）があると人の言葉が聞き取れないため、何度も質問を聞き返してしまい気まずい。
・時間（どのくらいかかるのかの見通し）の感覚がわかりにくい。
・使用するシャンプーやトリートメントの香りが強いと頭が痛くなる。
・気になる事・物に突然反応し、動くので危ない。
・注目される。髪型が変わるのが嫌。美容師さんの明るいノリ。
・同じ髪型ではなく、違う髪型にしたい時に上手く店員さんに伝えられない。
・カットしてくれる方の話し方がキツイとダメです。

③　ヘアカットの場所

まず、ヘアカットを普段どこでしているかを尋ねると、「理容室」31%、「美容室」38%、「家庭内」29%、「その他」2%となった。自宅で行っている人は全体の約 3 割という結果であった。

次に「理容室・美容室」でカットする人への困りごとや悩みの有無を尋ねた。その結果「ある」45%、「以前あったが今はない」41%、「以前も今もない」14%ととなり、全体的に、理容室・美容室での困りごとや悩みがある（あった）大きな傾向が現れた。

どのようなことが困っているのか、悩みなのかというと、多いものから順に「理容師・美容師との話が苦手」「髪や首周りを触られることが嫌」「ケープ・カットクロスが嫌」「身体の一部が常に動いている」「バリカンの音が怖い」「ハサミが怖い」「周りの話し声、店内の音楽などが気になる」「店に行くこと、店に入ることを嫌がる」「理容師・美容師や周りの客の目が気になる」「顔そりしたいができない」「シャンプーがしたいができない」「ドライヤーの音が怖い」「店のにおいが嫌」「パーマやカラーしたいができない」と続き、「その他」にも 60 件を超す意見があった。発達障害の特徴であるコミュニケーションの課題、感覚過敏に関する課題が多くあがった。

一方、「家庭内」でヘアカットしている 134 件の回答の内訳は、「起きている間（嫌がらずに)」カットしているのは 54%、「起きている間（嫌がっているが、押さえつけるなど)」してカットしているのが 28%、「寝ている間」にが 3%、「その他」が 15%という結果であった。約半数の人たちは、嫌がることなくカットができていると答えているが、そうではない回答も約半数弱あった。カットをする人はアンケートの書き手もしくはその家族で 91%を占め、「理容師・美容師」が 3%、「本人」3%、「その他」3%であり、家庭内でのヘアカットに訪問理美容を受けている人は極わずかであった。また、家庭内のどこで行うか？　については、「浴室」48%、「リビングルーム・居間」が 34%、「子ども部屋」3%、「その他」15%であり、最も多いのが「浴室」であることはヘアカットをする場所というには違和感がある。なお、ヘアカットをする道具としては、「はさみ」「バリカン」「その他」が回答順であった。

家庭内でカットする理由の内訳は、「断られたことはないが、理容室・美容室では難しいと感じる」が 41%で最も多く、次いで「時間的・経済的な理由」が 20%、「対象となる本人が、かつての嫌な経験を思い出すなどの理由により店にいきたくない」17%、「理容室・美容室で断られた」3%、「自分または家族が理美容師なため」3%、「その他」16%という結果であった。実際に断られたという意見は少数だったが、理容室・美容室へ行くのを諦めてしまっている、あるいは、過去に嫌な経験をしたことで足が遠のいている実態が見える。

しかし、障害、理容室・美容室でヘアカットがしたいかどうか？という問いに対しては、「とてもそう思う」46%、「そう思う」31%と実に 77%の人が店でのカットを切望し、「どちらでもいい」13%、「あまり思わない」5%、「まったく思わない」5%の声を大きく上回った。

その他、理容室・美容室でのヘアカットへの意見・要望欄にも多数の意見が寄せられた。代表的な意見を一部紹介する。

・今、通っている美容室に出会うまで、断られ続けていました。じっと座っていられないので危ないという理由で。それはよく分かりますが、小さい頃ならまだしもある程度大きくなってくると、親が切った髪型でいるのはかわいそうで（家で切る場合、髪の処理など大変)。どうにか切れないものかと歩みよって検討してもらう姿勢があるとありがたいです。

・今の美容室には、障がいを告知し理解し協力してもらっているので、嫌がる事はあるもののカット出来ています。今後、発達障がいの子も対応します、という様な協会が出来て、

のカット出来ています。今後、発達障がいの子も対応します、という様な協会が出来て、加盟店が増えれば、全国的に困っている子ども達もお店でのカットにトライ出来ると思います。発達障がいの知識は無くとも、協力的で理解して対応して下さるお店が増えるといいと思います。

以上、アンケート結果を概観してきた。今回、発達障害当事者に対する調査としては全国初のものとなり、理美容に関する悩み、課題を抱える当事者や家族が全国的にも存在するということは明らかになった。本来ならば、理容室・美容室でヘアカットがしたいと考える当事者は約 8 割にも上っており、家庭内でヘアカットをするのは積極的な選択肢という訳ではない。どのような不安や困りごとがあるかを理解し、対応してもらえるお店が増えていくことが望むべき目標であろう。障害の有無に拘わらず、本人が気に入る、そうしたい髪型が楽しめる社会になりゆくために必要な方策は何かを考え、実現へと踏み出していくことがこれからの課題である。

---

[1]南・赤松（2014）「発達障害児をめぐる理美容に関する研究――美容室ピースオブヘアーの取り組みに焦点を当てて――」『京都光華女子大学研究紀要 No.52』京都光華女子大学

[2]自閉症や多動症などの発達障害の子供達には「理・美容室に行けない」「じっと座っていられないので断られる」という場合も多い。理・美容室に行けない子供達に、自宅や支援学校等でのカットを経て理・美容室でカットができるよう段階的にアプローチするカットをスマイルカットと呼んでいる。

注：当アンケート調査結果の詳細は「資料編」をご覧ください。

（３）理容師・美容師のための「発達障害児・者のヘアカット講習会」

１　趣旨

全国には、発達障害のため、はさみやバリカンを怖がってヘアカットができない方々が、たくさんいます。

特定非営利活動法人「そらいろプロジェクト京都」は、ヘアカットを通じて社会に貢献することを目的に平成 26 年に発足し、発達障害の子どもたちが理容室・美容室でヘアカットができるように、様々な形で活動してまいりました。

今年度、公益財団法人　木口福祉財団のご支援をいただき、「発達障害児・者向け理美容技術プログラム策定事業」に取り組んでいます。

この事業は、多くの理容師・美容師が発達障害に関する基礎知識と理美容技術を身につけることを通じて、発達障害児・者の日常生活における不便や不安を少しでも払拭することを目指しています。

この度、当事業により策定した研修プログラムに基づき、全国の理容師・美容師の皆様を対象とした講習会を開催することといたしました。

２　主催　　特定非営利活動法人　そらいろプロジェクト京都

３　後援　　厚生労働省

４　協力　　社会福祉法人　南山城学園

５　対象　　全国の理容師・美容師（東京 60 名、京都 42 名、計 100 名）

６　日時

【東京会場】平成 30 年 1 月 30 日（火）

【京都会場】平成 30 年 2 月 5 日（月）

７　会場

【東京会場】東京芸術劇場

【京都会場】ホテルセントノーム京都

８　受講料　　お一人　3,000 円（交流会費別途、希望者のみ）

９　講習日程・内容

12:50　　開会あいさつ

特定非営利活動法人　そらいろプロジェクト京都　理事長

赤松　隆滋

13:00～14:00　講義「発達障害とは」

（東京）厚生労働省　社会・援護局　障害福祉課

発達障害対策専門官　日詰　正文

（京都）京都市児童福祉センター診療所・精神科医

京都市発達障害者支援センターかがやき・センター長

村松　陽子

14:00～14:20　報告「発達障害者のヘアカットに関するアンケート調査結果」

（共通）京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科社会福祉専攻　講師

（発達障害児・者向け　理美容技術プログラム策定委員会　座長）

南　多恵子

14:20～15:30　対談「当事者・保護者の立場から」

（共通）一般社団法人　日本発達障害ネットワーク(JDDnet)　事務局長

橋口　亜希子

一般社団法人　UnBalance　代表理事

元村　祐子

コーディネーター

京都光華女子大学健康科学部医療福祉学科社会福祉専攻　講師

南　多恵子

15:45～16:45　「行動の意味を知る／支援の方法（構造化など）」

（共通）社会福祉法人　南山城学園　障害事業局スーパーバイザー

澤　月子

16:45～18:15　「ヘアカット演習」

（共通）特定非営利活動法人　そらいろプロジェクト京都　理事長

美容室ピースオブヘアー　代表　赤松　隆滋

18:15　　閉会あいさつ

京都美容専門学校　校長　西　初美

研修名	理容師・美容師のための「発達障害児・者向けヘアカット講習会」（東京会場）
講義名	発達障害とは
講師名	日詰　正文（厚生労働省　社会・援護局　障害保健福祉部　障害福祉課　障害児・発達障害者支援室　発達障害対策専門官）

1．タイムスケジュール

時間	内容
13:00～13:10 13:10～13:25 13:25～14:00	導入 演習　　ペアワーク 講義

2．ねらい・重点目標

・発達障害の基礎理解。
・演習を通して、当事者の状況や気持ちを理解する。
・障害者差別解消法、合理的配慮の考え方を知る。

3．講義の内容・進行・主な論点

本研修は、普段、発達障害児・者との関わりがない理容師・美容師の方々が対象であり、理美容の技術を習得する以前の段階に「発達障害とは何か？」を知ることが必要であった。そこで本講義は、研修の前提となる発達障害の基礎理解をねらいとして演習も交えながら進められた。

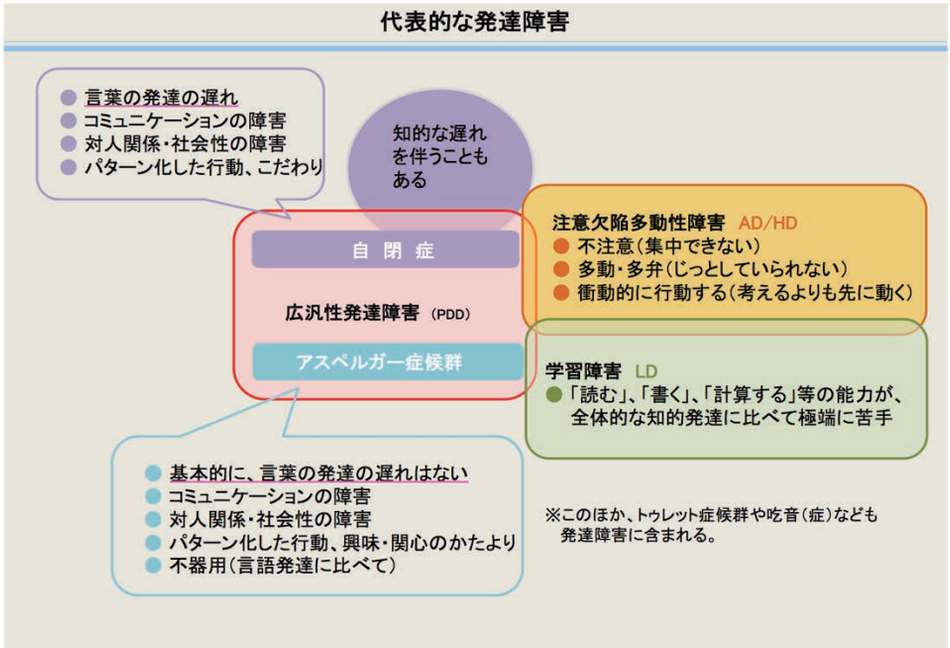
演習は、1人が動き回り 1 人がそれを静止させるというものだ。まず、隣同士でペアを組み、当事者役、支援者役になる。その役割は2回目に交代するので、どちらの役割も体験する。1 回目は動き回る当事者役は支援者役から声をかけられても止まらないという指示であった。2回目は止まるが、止まった時に支援者役は何か声をかけなければならない。広い会場を使い動き回れたので、結果として初対面の参加者同士とは思えないほど打ち解けられた。1回目は、「止まろうね」「落ち着いて」などの声がかかろうがおかまいなしで、支援者役の困った表情が見て取れた。2回目は、役割を交代した。今度は、当事者役は止まってくれるが、その時に声をかけるという設定だ。どのような声をかけたらよいのか見当がつかず、支援者役の戸惑う様子があった。

この演習から日詰氏が伝えたかったことは、これは、発達障害児が過ごす教室でよくみる光景であるということ、子どもたちは注意をされたり叱られたりすることがとても多いのだということ、じっとしていることが苦手な子どもたちにとって静止するためにとても頑張っているのであり、叱るのではなく誉めるべき行為だということであった。

体験を通じて、当事者である子ども達がどういった状態にあるのかを実感し、また、支援者（理容師・美容師）側に求められることへの気づきにつながった。

そのうえで、発達障害者支援法の定義に基づき、「代表的な発達障害」の説明があった。

図１



発達障害は、大きく分けて「広汎性発達障害（PDD）」「注意欠陥多動性障害（AD/HD）」「学習障害（LD）」があり、それらが重複する場合もある。また知的な遅れを伴うこともあるという。広汎性発達障害には「自閉症」と「アスペルガー症候群」が包括される。それぞれ、図1に示したような特徴がみられる。こうした代表的な障害の他に、トゥレット症候群や吃音（症）なども含まれる。また、発達障害は理解にわかりにくさを伴っている。例えば、以下の4点が挙げられる。

・単に怠けているのではないかと感じられる点（読み書き計算のミスを繰り返す、多動、注意散漫、吃音、チックなど、場面により我慢できることもあれば我慢できないこともある。）

・程度の問題に過ぎず、大げさだと感じられる点（通常は気にならない人込み、特定の音や匂い・味・温度などに対して極端に敏感・不安だったり、反対に高熱や負傷も平気だったりする。）

・マイペースで、わがままだと感じられる点（知的な遅れがないのに比喩や禁止指示が理解できない、個人的なルールに極端に固執するなど）

・上記の状態を証明する生物学的な検査指標がほとんどない点（発達障害の特性の背景には脳機能の障害があるが、明らかな遺伝子・脳画像・生理学的指標などを確認する検査方法が（現時点では）確率していない。）

こうしたわかりにくさがあるものの、既に数々の事例や調査等で明らかになっていることもある。発達障害の特徴や関わり方を理解し、接することで、生きづらさを軽減或いは解消して、その人らしくいられる環境を生みだすことができるのである。台本を作成し練習に付き合うことでできることが増える、文章ではなく文字やイラストで伝える工夫をするなどは一例である。（参考：「障害者差別解消法 福祉事業者向け・社会保険労務士向けガイドライン（発達障害関係個所）～福祉事業者・社会保険労務士の業務を行う事業者が講ずべき障害を理由とする差別を解消するための措置に関する対応指針～平成27年11月厚生労働大臣決定」）。そして災害時にも当然配慮が必要で、大勢が避難する避難所では人込みや雑音にしんどさを生じる可能性も高く、そのような時には「デジタル耳栓」（図2）が効果的であることも紹介された。何より、発達障害への理解者が傍らにいることが重要なことである。

図2　デジタル耳栓

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(いわゆる「障害者差別解消法」)が平成28(2016)年 4 月 1 日から施行されている。一人ひとりの困りごとに応じた「合理的配慮」の提供は事業者にも義務化される時代になっており、学校や職場などでも数々の取り組みが進みつつある。この研修が、理美容の世界にもそうした理解や配慮が進む礎となるよう願いたい。

4. 参加者の声・反応

・日詰さんのお話はとても興味深く勉強になりました。日詰さんの優しいお声に癒されながら聞かせていただきました。
・最初に厚生労働省の人のお話？と思いましたが、発達障害児がどのように困っているか、周りの大人がどのように関われば子供を取り巻く環境を優しいものにできるか、とても興味深かったです。話し方もお上手で、引き込まれました。
・日詰専門官が厚生労働省におられることを誇りに思いました。
・美容師免許の教科書にも載せてほしいですし、小・中・高の教科書などにも大きく取り扱ってほしいと思いました。

5. 講師のコメント

障害者差別解消法の着実な実施のためには、単なる知識の普及啓発ではなく、実践的な対応の練習量確保がポイントとなる。当日は、現場を想定しながら意欲的に参加する参加者が多く、本研修が、理容師・美容師の現場に即した研修内容であり非常に効果的なものとなっていることが感じられた。

研修名	理容師・美容師のための「発達障害児・者向けヘアカット講習会」（京都会場）
講義名	発達障害とは
講師名	村松　陽子（京都市児童福祉センター　診療所・医師、京都市発達障害者支援センターかがやき・センター長）

1．タイムスケジュール

時間	内容
13:00～14:00	講義

2．ねらい・重点目標

・発達障害の基礎理解。
・発達障害の人に必要な配慮を学ぶ。
・障害者差別解消法、合理的配慮の考え方を知る。

3．講義の内容・進行・主な論点

本研修は、普段、発達障害児・者との関わりがない理容師・美容師の方々が対象であり、理美容の技術を習得する以前の段階に「発達障害とは何か？」を知ることが必要であった。そこで本講義は、研修の前提となる発達障害の基礎理解をねらいとして講義形式で進められた。

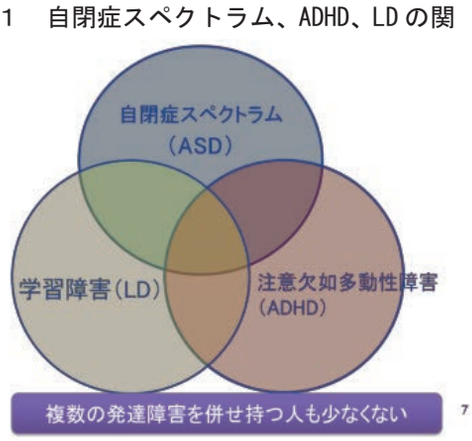
1．発達障害とは

平成 17（2005）年に「発達障害者支援法」が施行され、そこでは「広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群を含む。自閉症スペクトラム [1]）」「注意欠陥多動性障害（ADHD）[2]」「学習障害（LD）」、その他これに類する脳機能の障害と定義されている。それぞれの関係は図1の通りで、複数の発達障害を併せ持つ人も少なくない。自閉症スペクトラムと知的障害の併存も多くみられる。

【自閉症スペクトラム】

スペクトラムとは、“社会性”“コミュニケーション”“想像力の不足・こだわり”共通の特徴をもった連続するものという意味である。虹の色が連続して変わるように、特性の出方が人によって強く出たり弱く出たりしていると見なすものだと受け止めればわかりやすい。

図１　自閉症スペクトラム、ADHD、LD の関



“社会性”では、他の人の見方や気持ちがわりにくい、人との相互的なやりとりが難しいなど、“コミュニケーション”ではメッセージの発信・受信・やりとりすべての側面で人とのコミュニケーションの難しさがある、“想像力の不足・こだわり”では、目の前にないことを、頭の中で関係づけ、思いを巡らせることが難しく、その結果、予想外のことで混乱する、気持ちの切り替えが難しい、臨機応変な対応が難しい、同じであることにこだわる、興味の偏りがある、感覚の偏りがあるなどの特性が挙げられる。

【注意欠如・多動性障害（ADHD）】

知的能力に見合わない不注意症状、多動・衝動性があり、生活に支障をきたしている状態。主

な特性として、言われたことを忘れる、忘れ物が多い、物をなくす等の“不注意”、落ち着きがない、待てない等の“多動・衝動性の高さ”が挙げられる。

【学習障害（LD）】

知能全般に遅れはないが、特定の学習能力に極端な落ち込みがあり、学習面で苦労する状態。書字障害（文字を書くこと）、読字障害（文字を読むこと）、計算障害（計算すること）等である。

これらの障害に対する支援には、①障害特性の理解、②支援の考え方（違いを認め尊重する、得意を生かして苦手を補う）をベースに持つことが重要である。例えば、自閉症特性と支援を考えると、言葉を聞いて意味を理解することは苦手だが目で見て理解したり記憶することは得意な特性を生かし、視覚的に伝える工夫をすると有効だ。感覚刺激に対し独特な感じ方をする人には感覚刺激を調整するといった支援を工夫することも極めて有効である。

2．発達障害の人に必要な配慮

発達障害の特性と社会との不適応が引き起こす、いわゆる「困った」行動といわれるものがある。具体的には、怖がる・不安が大きい、暴れる、物を壊す、大声・奇声を出す、落ち着かない、嫌がる、パニックになる、本人の訴えがわからない、指示に従えない、体を触らせない、待ち時間が待てない、部屋に入らない、他の人に話しかけて迷惑になるなどである。だが、何故そうなるのか？という理由があり、7点にまとめた。1）ことばを聞いて理解するのが苦手、2）イメージが持てない、3）意味や目的がわからない、4）見通しが持てない、5）感覚の問題、6）嫌な経験が残る、7）落ち着きのなさ、衝動性、気の散りやすさというものである。

それらに対する必要な配慮をまとめると、次の6点に集約できる。つまり、1）見通しが持てるようにする、2）理解できる伝え方、3）本人からのコミュニケーションを助ける、4）感覚刺激の調整、5）場所・空間への配慮、6）動機づけである [3]。配慮を検討する際には、保護者とのコミュニケーションが欠かせない。一人ひとりについて一番よく知るのは保護者である。事前の打ち合わせや準備がより良い支援を導く近道である。

障害のある方々が、教育や就業、その他社会生活において平等に参加できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる「合理的配慮」がますます求められている。障害者差別解消法では、この合理的配慮を可能な限り提供することが、行政・学校・企業などの事業者に求められるようになった。社会の側が障壁をなくす努力をしていくことが一層目指されており、理美容の世界にも広がっていくよう切に願いたい。

注 1：日本で発達障害の診断基準として使われているのは、世界保健機構（WHO）が公表している「疾病及び関連保健問題の国際統計分類（ICD）」と、アメリカ精神医学会が公表している「精神障害の診断・統計マニュアル（DSM）」の 2 つである。1990 年代に公表されたICD-10とDSM-4では、広汎性発達障害という大きなグループの中に、いわゆる自閉症やアスペルガー症候群、また特定不能の広汎性発達障害（PDD-NOS）などが含まれているとされていたが、2013 年に DSM が改定され（DSM-5）、細かい分類をなくし、自閉症スペクトラムという大きな 1 つのくくりにまとめられた。そのため、WHO や法の定義では「広汎性発達障害」だが、実際には、P40 アンケート調査結果をみてもわかるように、現在、2 つの診断名が混在し、使用されている状況がみられる。本講では DSM-5 の定義で説明されている。

注2：法の定義では「注意欠陥多動性障害」となり、DSM-5 の定義では「注意欠如・多動性障害」と表される。

注3：なお、澤月子氏の報告「行動の意味を知る/支援の方法（構造化）」（P22～26）に詳述されている。

4．参加者の声・反応

・私は「発達障がい児」が身内にいるものとして参加させていただきました。「発達障がい」とはどういうものか？　ということに対してとても分かりやすく説明いただけて、導入部分としてとても有益だったと思いました。

・初めて聞く方にはとても分かりやすかったと思います。

・やや、専門的な内容ではありましたが、ここを端折ってはいけない、そんな思いで聞いていまし

た。映像による当事者の方のお話はとても心に残り、出版社として福祉に携わってきてはいましたが、今回、直接の声を聞いて、お恥ずかしい話ですがうわべだけの知識だったなと思うことがありました。

5. 講師のコメント

理容・美容は生活において不可欠なものであるが、発達障害のある方々はさまざまな理由によって困難を伴い、利用できていない方も少なくありません。今回、このような場で理容師・美容師の方々が発達障害についての知識に触れ、理解を深めていただく機会を持てたことは、大変有り難く思います。参加された方たちが大変熱心に視聴していただいていたのが印象的でした。これからもこのような機会が増えて、さらに多くの方たちが発達障害のある人たちを理解し、発達障害のある方たちが暮らしやすい社会が作られることを望みます。

研修名	理容師・美容師のための「発達障害児・者向けヘアカット講習会」
講義名	当事者・保護者の立場から
講師名	橋口亜希子（一般社団法人日本発達障害ネットワーク　事務局長） 元村祐子（一般社団法人 UnBalance　代表理事）

1. タイムスケジュール

時間	内容
14:20～15:30	対談

2. ねらい・重点目標

・発達障害者のヘアカットについて、「当事者の視点」から考える
・発達障害者のヘアカットについて、「保護者の視点」から考える
・発達障害者のヘアカットにおける「困りごと」から、支援について考える

3. 講義の内容・進行・主な論点

本対談では、当事者と保護者の視点から、発達障害者のヘアカットの「困りごと」を知っていただき、その困りごとを解決する「支援」について、対談を行った。対談のポイントは以下の 4 点である。

1. 感覚過敏

【保護者視点（橋口）】

・ 髪を切ることが痛いと感じる、切った髪の毛がつくことが嫌、バリカンやドライヤーの音が怖いといった感覚過敏から、発達障害児のヘアカットはとても困難である。
・ そのため、自宅でヘアカットをするが、それは大ごとで、困難の連続である。

【当事者視点（元村）】

・ 臭覚過敏のため美容室や理容室のにおいが辛くお店に行けない当事者がいる。
・ 触覚過敏のためにカットした後の髪が顔などにつくことが苦痛であったり、施術内容により、長時間同じ椅子に座っていることが苦痛であったりする。しかし苦痛であることを伝えることができず、精神的ギリギリまで我慢し帰宅後に寝込むこともある。
・ この場合の解決案（当事者の希望）としては、施術（パーマやカラーリング）の待ち時間にリラックスできるよう場所を代われたり、場面転換できる環境であれば多くの当事者の精神的負担が少なくなるように思われる。

2. コミュニケーション

【保護者視点（橋口）】

・ 発達障害者はコミュニケーションをとれないわけではなく、そのコミュニケーションの方法がマイノリティーであって、異文化コミュニケーションと捉えてほしい。
・ 周囲の視線が気になるので、パーテーションなどで仕切りがあると落ち着きやすい。
・ 過剰なサービスに圧倒されてしまって戸惑ってしまうこともある。

【当事者視点（元村）】

- 成人の発達障害当事者の多くは「見た目」には障害があるとは思われにくいため「仕事をしていて当然」の前提であれこれと質問されることが何より苦痛である。
- 当事者の中には就労がうまくいかず、ニートやひきこもりである者もいる。「忙しいですか」と世間では「普通」の質問も当事者にとっては辛いこともある。
- そもそも美容院や理容店にはヘアカットをするのが目的であるため、雑談するなどのコミュニケーンを望まない当事者が非常に多い。

3. 本人の意思決定支援

【保護者視点（橋口）】

- 発達障害者に必要なことは、ヘアカットとはどういったものなのか「見通しが立つこと」であることから、事前に「予習できる」仕組みを作ってほしい
- 本人の意思を尊重させるためには保護者の理解と、安心と信頼を基にした保護者への支援無くしては実現できない。

【当事者視点（元村）】

- 保護者がヘアカットを希望されていても本人が嫌がる時は、絶対に無理にヘアカットはしないでほしい。どんなに幼少であっても本人の意思を尊重するよう強く願う。
- この場合、保護者の思いや背景も十分に理解して、保護者と本人が安心してヘアカットができる状況・環境をつくることが大切である。

4. 親の心理

【保護者視点（橋口）】

- 発達障害児の子育ては社会において、受け入れ先がない、行き場所がない、周囲の視線が気になる、子供が生まれた時から責められることが多いなど、困難の連続である。
- 理美容室に行っても、発達障害の特性から断られることも多く、保護者は理美容室に行けないあきらめを持っている。
- 行けたとしても相当の覚悟が必要であり、保護者は「ここだったら切ってもらえるかもしれない」とのかすかな期待と、「断られるかもしれない」「迷惑をかけるかもしれない」との大きな不安をもっていることを知ってほしい。

【当事者視点（元村）】

- 保護者の立場で考え振り返ると、ヘアカットは生活のほんの一部の事であり、保護者は日常生活において様々な場面で実に辛い思いをしている。
  発達障害をもつ子どものトラブルは子ども同士から、やがて親同士の問題となることもある
  普段の買い物さえ行けなくなる場所があり、地域でも居づらい思いをしている保護者もいることを知ってほしい。
- 我が子が発達障害の診断を受けたからといって、診断書一枚である日突然「障害児」の親には到底なれない。障害を受容するにも個々の差はあるものの時間がかかることも知ってほしい。

4. 参加者の声・反応

- 共感と気づきを頂きました。当事者が語ることで人それぞれの感覚過敏があることを知り、それは案外誰にでも当てはまることで、気配りの大切さを改めて感じました。発達障害のお子さんを持つ親御さんの切実な思いを知り、どの行動もジャッジするものではない、と改めて感じました。
- 対談有難うございました。普段の生活の中でのリアルなお話を聞くことが出来たのですごく貴重な時間でした。お話を聞いていてなるほどと何度も思いました。講習会の中に対談を組み込んで頂いて、身近に感じましたし、とってもわかりやすく、楽しかったです。時間があればもう少し対談して頂きたかったです。
- 大人の当事者、また、発達障害児を育て、更に世間に広める仕事をしている方のお話はとても説得力がありました。

5. 講師のコメント

【橋口】保護者として発達障害に携わって 17 年が経つが、ずっと私が自身の子育てを通して社会に切に求めていたことは、普段の日常生活を送る地域に、身近な存在として、味方となってくれる人たちが増えることであった。一方で、発達障害に対する偏見や差別、そして子供の特性ゆえの言動が「親のしつけがなっていない」「親の人間性に問題がある」と結び付けられ、親自身も周囲や社会への積極性が乏しくならざるを得ない状況から、身近な人達に味方を求めることをそもそもあきらめてしまってきたことも否めない。

身近な人達に味方になってもらいたいけれど安易に求めることが出来ない、この相反する葛藤を経た私が確信していることは「発達障害を手掛かり」とすると社会の困りごとが解決でき、幸せな社会を実現できるということだ。ヘアカットに関して言えば、発達障害を理解すると、サービスも質も幅が広くなると考える。理美容師にとって、その気配りやそのやさしさはほんの些細なことかもしれない。でもその些細なことが、私達保護者にとって多くのあきらめだったことが「希望に変わる」ことを、どうか、どうか知ってほしい。

【元村】

このようにいろいろな角度から発達障害について理解を深めてくださるのは当事者として大変うれしく思う。特に感覚過敏やコミュニケーションに関しては、当事者が声をあげないと外からはわからないことばかりで、具体的に当事者の声をきいてもらえたことは非常にありがたい。我々当事者が生きやすく暮らしやすい社会は誰もが暮らしやすい社会であると考える。

理美容師の方々が発達障害を理解してくださることで、当事者の生きづらさが軽減されると思う。

今回のプロジェクトでの大きな気づきは、発達障害当事者とその家族は無意識に我慢することが「当たり前」になっており、生活の様々な場面において障害特性を「負い目」に感じているということである。

お店（理美容店）に行ってヘアカットをしてもらうという普通のことが、障害特性があることで負い目に感じる人がこのようにたくさんいることを社会にもっと知ってほしいと思うと同時に、当事者だけの問題ではなく社会の問題として提案していきたい。そして、ヘアカットをきっかけとして　発達障害とその家族が特性を負い目に感じることなく生活できる社会に近づいてほしいと切に願う。

人生の中で、自分を理解してくれる人に 1 人でも多く出会えることが、当事者の人生を明るくするものだということを広く知ってほしい。

研修名	理容師・美容師のための「発達障害児・者向けヘアカット講習会」
講義名	行動の意味を知る～支援の方法～
講師名	澤　月子

1. タイムスケジュール

時間	内容
15:45～16:45	講義

2. ねらい・重点目標

・　理美容室に通えないこどもたちの「不適応」行動にも必ず意味がある
・　その意味を知ることで対応への工夫が生まれる
・　広汎性発達障害（自閉スペクトラム症）のこどもを不安にさらさないための環境の工夫や、周囲の意味を理解できるようにするための工夫（スケジュールの使い方やご褒美の提供の仕方）を具体的に体験してみる

3. 講義の内容・進行・主な論点

「障害」と言えばマイナス面を見がちだが、苦手と得意は表裏の関係。得意な面を生かして苦手を補う、これが支援の基本と言われている。広汎性発達障害のこども達は絵や写真を見て理解することが得意、この力を使った支援の方法を紹介。

1. 私たちには気づかない感覚のこと
・　アンケートからも感覚過敏から理美容室でのカットができないことが多いと分かった
・　好きな感覚に注意を分散することで苦手な感覚を緩和できる（見る・聞く・触るなどの感覚グッズを利用）。例えば、DVD を見ながら、クッションボールを触りながらなど。

2. 私たちから伝えたいこと（周囲の意味を知る）
・　できれば家庭で「いつ・どこで・誰と・何をするのか・終わったら何があるのか」の大まかな見通しを写真やイラストで示す（写真1）
例；～の後（1日のスケジュールを示しておく）・車で・そらいろサロンというお店で・赤松さんという美容師さんに・髪をカットしてもらう（カットの流れは別のスケジュールで細かく示す）・終わったら車で・マクドに行こう

3. 理美容室では
①　どんな場所で？（物理的な工夫）
・　刺激が少なく、気が散らないようにカーテンで仕切るなどの工夫
・　気になる音や匂い、触りたくなるようなものはあらかじめ無くしておけるとよい
②　未知の体験や見えない時間の流れを見える形に変える
・　カットの流れを伝える（理美容室でのスケジュール）
　　何をするのか／どんな順番でするのか／どのようにするのか
・　どんな方法で伝えるのか

＊事前に動画を見てイメージを持っておく
＊隣に座ってモデルを見せる（モデルと同じことをする）
＊使用する具体物を順番に並べて置き、具体物が無くなったら終わり（コース料理と同じ）
＊椅子に座る・ケープをするなど1工程につき1枚の写真やイラストを順番（タテまたはヨコ、めくり式など）に並べて、その活動が終わるごとに外していき、カードが無くなったら終わり（写真2：脳波検査の例）

・　どれくらいするのか
＊見えるタイマー（タイムタイマー）を使って、どれくらいの時間するのかを示す（写真3）
＊カウントダウン（「1・2・3・・・・・10おしまい！」）

・　終わったら何があるのか
＊ご褒美がもらえる（その場で、または帰宅途中にマクドなど）
＊トークンという方法（1工程終わるたびにシールをためてゴールしたらご褒美）（写真4）

4．本人から伝えたいこと
・　本人が言いたい必要な言葉（トイレに行きたい・休憩したいなど）を絵や文字カードにして、カードを相手に渡して伝える方法を用いる

以上は、話し言葉の理解や暗黙の了解は苦手だけど、見て分かることが得意！という特性を生かした支援。これらの方法は、発達障害のこども達だけではなく、まだまだ、じっと座っていることが苦手な幼児や、障害というほどではなくても感覚過敏のある方にも有効と思われる。
もしも、私たちが言葉が通じない外国に行ったら、きっと何かの目印を探すのではないだろうか。初めて入るお店ではどんな順番で物事が進むのかを教えてほしくなるだろう。そして、ご褒美に向かって、ちょっとだけ頑張ろうと思えるはず。
牛乳パックの裏に絵や写真を張り付けるなど、いたって簡単に作成できるので、ぜひ挑戦していただきたい。

キーワードは「視覚的・具体的・肯定的」

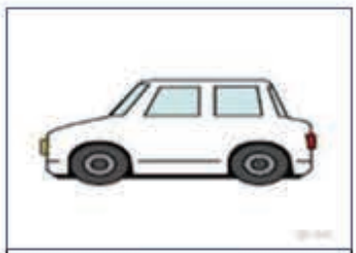
4．参加者の声・反応

発達障がいに関わったことがない人たちにも、絵カードなどが必要な人たちなんだというのが分かりやすく伝わったように思う／目で見て伝える・理解してもらえるほんの少しの事で改善できることを教えて頂いたので、サロンワークに生かしたい／「終わったら何があるのか」までの見通しへの配慮は忘れがちだが大切ですね／赤松さんの「スマイルカット」の方法に繋がってる部分がたくさんあって、「あぁ～なるほど…」と納得した

5．講師のコメント

障害があるから必ずしも「不適応」行動を起こすのではない。周囲がその行動の意味を知り、必要な手立て（視覚的な支援；絵カードやタイマーを使って見通しとやるべきことがわかることや、終わったらご褒美があるなど）を取ることで、こども達は必ず変わる。実際の支援グッズなどを見てもらったり、触ってもらう貴重な機会となった。タイマーを購入された方もあった。
また、感覚過敏への視点を持つことによって、理美容室の環境やカットの最中に心地よい感覚に触れてリラックスする方法なども紹介したので、ぜひ取り入れていただき「スマイルカット」の輪が広がっていくことを期待したい。

写真１



くるま

すまいるサロン

かみのけをきる

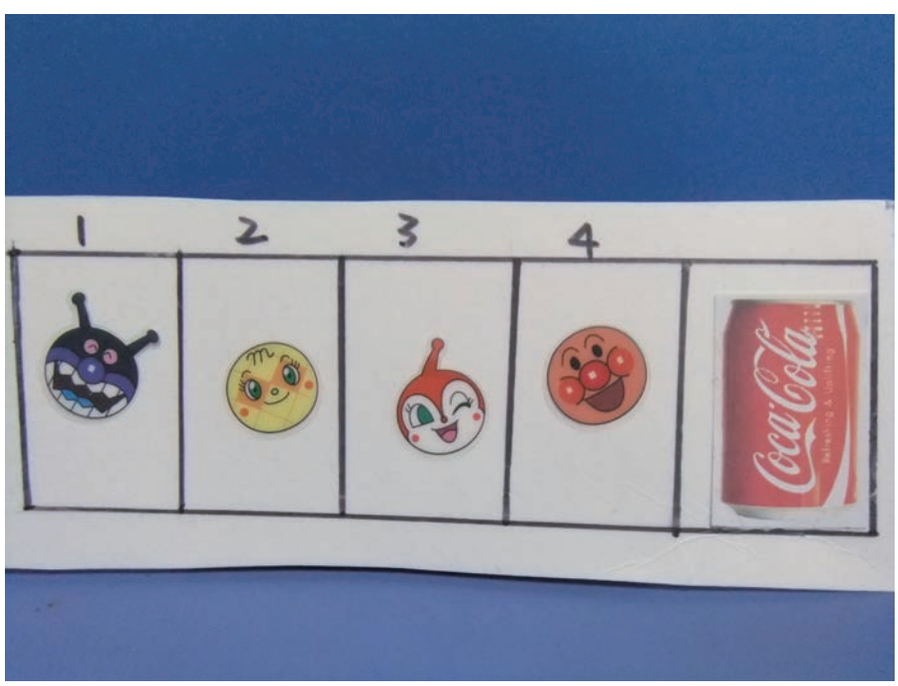
くるま

マクドナルド

写真２

写真３

写真４



研修名	理容師・美容師のための「発達障害児・者向けヘアカット講習会」
講義名	ヘアカット演習
講師名	赤松　隆滋（特定非営利活動法人　そらいろプロジェクト京都　理事長 美容室ピースオブヘアー　代表）

1. タイムスケジュール

時間	内容
16:45～18:15	講義

2. ねらい・重点目標

・スマイルカットとは何か理解してもらう。
・スマイルカット実施に必要な事項の解説。
・理美容師側の不安を和らげ、スマイルカットに取り組んでもらえるようにする。
・知識（技術）と心の部分両方の大切さをレクチャーする。

3. 講義の内容・進行・主な論点

本講では、スマイルカットを実践してきた赤松氏より、実際のヘアカットに必要な心構えやポイントの説明があった。講義は、以下の 8 点に整理して行われた。

1　スマイルカットとは

これまでの講義からもわかるように、発達障害の特性から、ヘアカットに困り感を抱える当事者、保護者は多い。だが、そのことはまだまだ知られておらず、子どもが椅子にじっと座っていられない、大きな声で騒ぐなどすると、「子どものしつけが悪い」や「親のわがまま」と誤解もされやすい。実際には、散髪を嫌がる子どもには必ず嫌がる理由があり、それを探ることにより、無理なくカットできるようなアプローチができる。そして、散髪を受け入れる可能性が向上する。

図1　スマイルカットの様子

このアプローチのことを、当事者、保護者、理美容師全員が「みんな笑顔」で散髪に臨める方法としてスマイルカットと名付けている。キャッチコピーは次の通り。

子どもが　笑って　保護者も　笑って　僕たち理美容師も　笑う
みんな笑顔　それが『スマイルカット』

2　スマイルカットを始めたきっかけ

2010 年、赤松氏が発達障害のある少年の保護者から相談を受けたことに始まる。一人で座って、ヘアカットを受けられるようにできないか？というものである。安易に引き受け、馴染みの児童館でカットを行った。だが、音に対する恐怖があったのにも拘わらず、バリカンを使用しパニックに

させてしまった。その時の反省から、発達障害について独学で学ぶようになった。すると、理美容師側に少しの「知識」「配慮」「工夫」があるだけでカットできるようになる可能性が向上することに気づく。今では、スマイルカットによってほとんどの子ども、大人のカットができるようにもなった。だが今も、多くの発達障害の当事者、保護者には理美容に対し、人知れず深い悩みを抱えている現実が横たわる。

我々には発想の転換が必要ではないだろうか。“動くからできない”と、切れないことを我々大人が多動症のせいにしてはいないだろうか？ 「プロだからこそ、障害を理由に拒否はしない」姿勢が重要だ。それぞれのプロフェッショナルがその分野で取り組む必要がある。

子どもにも皆「（理美容を）気持ちいい！」と感じる権利がある。それを守っていくのがプロである理美容師の役割である。そして、スマイルカットには特別な技術は必要なく、少しの知識、配慮、と工夫があれば取り組むことが可能になる。

図2 スマイルカットの様子

3 事前カウンセリングの必要性

必要とされる知識、配慮、工夫とは何を指しているのか。事前カウンセリングには、「ABC 分析1」を活用している。ヘアカットができるようになる“行動”に導くことに活用できそうな情報を事前に得ておくのである。電話での事前カウンセリングでは、以下のポイントでヒアリングを心がける。

・A（行動のきっかけ）に使えそうなものを探る
・C（行動の結果）に使えそうなものを探る
・今までの B（行動）の様子を知る

そしてヘアカット当日、さらに詳しくカウンセリングシートの記入をお願いする（P32～34参照）。

4 スマイルカットを実施する上で必要な事項

ヘアカット当日の配慮や工夫は次のとおりである。

・ウェルカムメッセージ（子どもの目線になり、笑顔で目を合わせる）
・環境づくり（自宅や行き慣れた児童館、学校でのカットからスタートし、慣れてくれば理美容室へ行く。タブレットを使用し DVD を見せるなど、子どもが安心できる環境を作る）
・見通しを立てる（タイマー・絵カード等を使用するなど視覚から伝える場合もある）
・子どもに選んでもらう（何分間カットを行うかなど）
・理美容師側が説得するのではなく、本人が納得して「（カットをして）いいよ！」と言うタイミングを待つ。
・過敏な子どもに対しても、感覚過敏のせいにしない。

図3 絵カードで表すスモールステップ

・スモールステップ（目標を細分化し小さな目標を達成する。体験を積み重ね、最終目標を目指す。）
・フィードバック（終わったあと、良いところをいっぱい褒める）
・保護者へも「家に帰って、みんなで褒めてください」と伝える。
・カルテを記入して成長をチェックできるようにする。

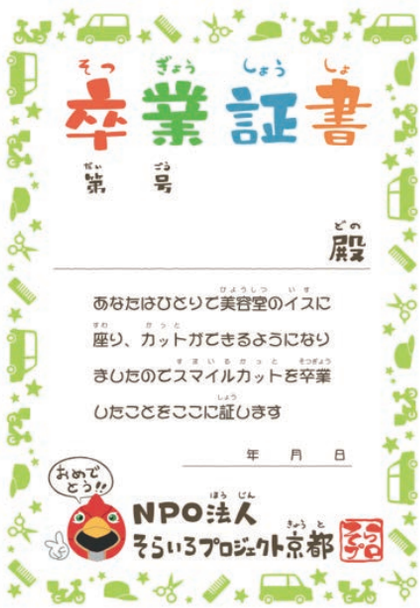


図4　スマイルカットの卒業証書

5　応用行動分析（ABA）

3、4は、応用行動分析（ABA）[2] といわれる理論をもとに工夫している。スマイルカットを続ける中で、発達障害の特性でもある感覚過敏等の理由だけでヘアカットができないのではなく、幼少期に体験した散髪への「恐怖」や、「不快」な思いをしたトラウマが鮮明に記憶されフラッシュバックしているのではと考えるようになった。ABA理論に基づき、この「恐怖」や「不快」からヘアカットを拒み続ける行動から、一人ひとりの顧客に合った強化子（快刺激）[3] を見つけ出し、散髪を拒む行動を弱化し、同時に散髪に挑む行動へと強化していくのである。

そのように捉えるなら、発達障害の子どもは「困った子ども」ではなく「困っている子ども」なのである。理美容師側が困っていては、現状は変わらない。理美容師側から「スマイルカットやってますよ」と、一歩踏み出してほしい。

6　その他　活動の広がり

図5　ピースマン（イラスト）

このような取り組みをもっと多くの人たちに知ってもらいたいと始めたのが「ピースマン」の活動だ。理美容室や散髪が大好きな子どもを増やすため、また障害のある子どもたちへのサポートと理解を広めるために立ちあがったヒーローとして「星髪戦士ピースマン」が誕生した。NPO 法人会員のイラストレーターや活動に共感する京都造形大学の学生が協力して生み出され、各種グッズや絵本、DVDなどに登場し啓発活動に一役買っている。

実は、理美容の根拠法である「理美容師法」では、障害者に対する出張カットは許されているものの、自宅に限られ、児童館や学校で行うと法律に抵触する恐れがあった。それではリスクが高く、心ある理美容師も躊躇してしまう。

このピースマンショーの会場に京都府知事が来場していたことがきっかけとなり、知事に現状と課題を伝える機会が持てた。その後、京都

図6　ピースマンショー

府との協議が始まり、平成 26(2014)年、障害に応じた場所で理美容を行うことが認められた京都府告示第 470 号に至った。その後、同様の内容が厚生労働省からも通知された。つまり、発達障害の人も、来店が困難な場合は理美容室以外でヘアカットができるよう認められるようになったのである[4]。

その他、2016 年にはピースマンの絵本の制作(スマイルカットの啓発、また発達障害についての理解を深めるための絵本)や、その他の執筆活動(経験を文章化・論文等)など様々な方法で周知に努めている。

7 まとめ

この世に「必要のない子」なんて一人もいない。子どもの可能性は無限大だ。大人ができることは何なのか？　スマイルカットは決して特別なことではない。誰もがスマイルカットが受けられる、そんな未来を創っていきたい。

図7　絵本にもなったピースマン

8 最後に

スマイルカットを通して気づいたことが 2 つある。

1 つ目が「知識の必要性」である。発達障害の特性がまだまだ世の中には理解されておらず、多くの誤解や偏見がある。そして保護者もそれに悩んでいることが多い。理美容師に少しでも知識があれば配慮できることが多くある。視覚支援からの見通しや環境づくり、ABA など福祉業界ではあたりまえの知識を理美容師が知ることで業務の幅が広がるのではないだろうか。

2 つ目が「心の重要さ」である。ついつい「知識」を身につけると「自閉症ならこのやり方」と枠にはめてしまいがちだが、一人ひとりの特性があり、やり方は人それぞれ違うものである。

まずは、プロの理美容師が自分の仕事をどれだけ楽しんで取り組めているのか。スマイルカットで言えば、どれだけ発達障害児の散髪を楽しんでいるのか。楽しめていたら我々は自ずと笑顔で仕事に取り組めるはずである。どんなに知識があっても楽しんで取り組めていなければ、相手にはそれが伝わるものである。反対に楽しんでいたら、それが相手に伝わり良好な関係が構築される。『ヘアカット演習』で伝えたかったことは「知識の必要性」と「心の重要さ」この 2 つである。

注1:応用行動分析(ABA)をベースにした方法で、問題行動への適切な対応方法を導き出すための分析法。ABC 分析では、ある行動を A.状況(Antecedent)　B.行動(Behavior)　C.結果(Consequence)の3段階に分けて捉える。

注2:応用行動分析学、通称「ABA」(Applied Behavior Analysis)とは、人間の行動を個人と環境の相互作用の枠組みの中で分析し、実社会の諸問題の解決に応用していく理論と実践の体系である。

注3:人は起こした行動に対する結果が望ましいものだと、以降もその行動を繰り返しやすくなる。この望ましい結果(ほうび)を与えてその行動を増やすことを「強化」と言います、またそのほうびのことを「強化子(快刺激)」という。

注4:理容師法施行令第4条第1号及び美容師法施行令第4条第1号に基づく出張理容・出張美容の対象について(平成 28 年 3 月 24 日))

4. 参加者の声・反応

・質疑応答が必要と感じる。素晴らしい活動をしている方もたくさん来ていたので、その方たちの意見も聞けるとおもしろい。
・講習会をまたやってほしいのですが、美容室の経営体制の疑問が生まれてくると思います。次、何をしたらいいのかと少しずつ段階を踏んだ具体的な講習会を今後していけば、不安なく、どこのサロンも取り組めるようになるかなと思いました。
・切れて良かったに止まらず、赤松さんのような、人生をもアレンジするヘアメイクアップアーティストの手により人々が喜びと幸せで溢れる、そんな世界を一緒に作っていきたいです。
・今後は療育園や、行政の人に働きかけながら、埼玉にもこのような活動を広めたいです。誰もが素敵になれる場所を目指したいです。

5. 講師のコメント

スマイルカットは決して特別な技術が求められるわけではない。必要なのは少しの「配慮」と「工夫」だけ。子どもへの寄り添う方法、また受け入れるために必要な知識やステップが伝えられたと思う。アンケートからも、前向きに取り組んでいこうという理美容師からの声が聞かれた。

今後実施していく中で、悩みや不安に対しての受け皿となり、共に活動を深めていけるよう NPO として環境整備していくことが、緊急的な私たちの課題であると感じた。
これからも一人ひとりの子ども達に寄り添い、全国どこでもスマイルカットが当たりまえに受けられるよう、尽力していきたい。

スマイルカット 準備 シート

そらプロ 特定非営利活動法人 そらいろプロジェクト京都

No.

記入日　　年　　月　　日

フリガナ

氏 名

【性 別】 □ 男　□ 女　【年 齢】

【ニックネーム】　【TEL】　－　－　【来店希望日時】

① 「スマイルカット」は何でお知りになられましたか？

□ ホームページを見て　□ SNS を見て　□ 知人の紹介　□ 学校からの紹介

□ その他（　　）

② 診断の有無

□ あり （診断名　　）　□ なし

③ 現在、カットはどこで行っていますか？

□ 美容室　□ 理容室　□ 自宅　□ 以前は行っていたが行けなくなった　□ その他（　　）

④ カット時の様子はどうですか？

□ 普通にできる　□ 嫌がるができる　□ なかなかできない　□ 全くできない

⑤ コミュニケーションについて、どの方法がわかりやすいですか？

●こちらからの伝え方　□ 日常会話　□ 簡単な言葉　□ 身振り（サイン）　□ イラスト、写真、物を見せる

●ご本人からの伝え方　□ 日常会話　□ 簡単な言葉　□ 身振り（サイン）　□ 絵カードを見せる

⑥ カット中に動画など、見て落ち着けるものはありますか？（DVD・タブレット・アニメ等）

⑦ お子さんの好きなもので、ご褒美になるものはありますか？（チョコレート等）

⑧ その他お子さんについて、気をつけてほしいことはありますか？

（例：バリカンはやめてほしい・視覚から見通しが伝えやすい。）

お願い（約束事）

- 「カットに行こうね」と必ず伝えて、お店にお越し下さい。
  （行くだけでいいから！切らなくてもいいから！等は言わないで下さい）
- 当日、最後まで切れなくても　そこまでの頑張り・できたことを褒めてあげてください。
- 事前にホームページでお店の雰囲気と、担当美容師の顔を見せ、「ここへ行くよ」と伝えておいて下さい。

カウンセリングシート

No.

特定非営利活動法人 そらプロ そらいろプロジェクト京都

フリガナ

氏 名

●差し支えない範囲でご記入下さい。個人情報は、スマイルカットで必要な範囲でのみ使用いたします。

記入日　　年　　月　　日

【ニックネーム】

【生年月日】

【保護者名】

【学校名(園名)】

【学年(年齢)】　　年　　才

〒

【住所】

【TEL】

【携帯電話】

【メールアドレス】

① 差し支えなければ、お子様の障がい名をお聞かせ下さい。

② 今まで理美容院へ行ったことがありますか？

☐ 定期的に通っている　☐ たまに行く　☐ 一度行ったことがある

☐ 行ったがカットできなかった　☐ 行ったことがない

③ スマイルカットへのご要望・ご意見をお聞かせ下さい。

☐ 無理にカットせずに子どものペースに合わせてほしい

☐ 少し嫌がってもカットしてほしい

☐ その他　ご要望（　　）

④ ドライヤーやバリカンの音に敏感ですか？

● ドライヤー　・・・・　☐ 大丈夫　☐ 少し嫌がる　☐ 使用しないでほしい

● バリカン　・・・・・　☐ 大丈夫　☐ 少し嫌がる　☐ 使用しないでほしい

⑤ お子さんが好きなもの・食べ物は何ですか？

(遊び・キャラクター・お菓子 等)

⑥ お子さんが嫌がることなどありましたら、お聞かせください。

(例：髪を触られるのを嫌がる・犬が嫌い等)

⑦ お子さんの様子に関する質問

●感覚が過敏	□1. ある	□2. 少しある	□3. ない
●感覚が鈍い	□1. ある	□2. 少しある	□3. ない
●人に触れられることが苦手	□1. ある	□2. 少しある	□3. ない
●新しい場所や人が苦手	□1. ある	□2. 少しある	□3. ない
●見通しが持ちにくい	□1. ある	□2. 少しある	□3. ない
●静かに座っていることが苦手	□1. ある	□2. 少しある	□3. ない
●自分の意思を伝えることが苦手	□1. ある	□2. 少しある	□3. ない
●その他（　　）	□1. ある	□2. 少しある	□3. ない

⑧ お店（またはお店以外）で該当する項目全てにチェックをつけて下さい。

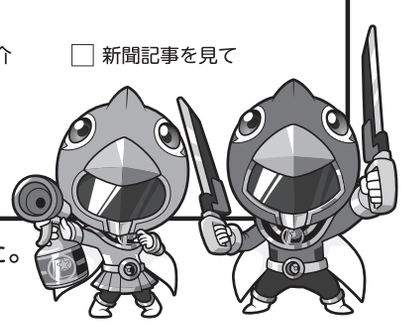
- □ 店に行くこと、入ることを嫌がる
- □ 10 分以上、椅子に座っていることができない
- □ 身体の一部が常に動いている
- □ ケープ（カットクロス）・タオルを巻くのが嫌
- □ ハサミがこわい
- □ バリカンの音がこわい
- □ 顔そりをしたいができない
- □ パーマ・カラーをしたいができない
- □ シャンプーをしたいができない
- □ ドライヤーの音がこわい
- □ 理美容師に髪や首まわりを触られることが嫌
- □ 理美容師や周りの客の話し声・店内の音楽などが気になる
- □ 理美容師との会話（コミュニケーション）が苦手
- □ 理美容師や周りの客の目が気になる
- □ 店のにおいが苦手
- □ その他（　　）

⑨ お子さんの障がいの特性やこだわりの強い部分について、知っておいてほしいことなどがありましたら、ご記入下さい。

（例：自傷・他傷行為がある。視覚から見通しが伝えやすい。）

⑩ スマイルカットは何でお知りになられましたか？

- □ ホームページを見て
- □ SNS を見て
- □ 知人の紹介
- □ 学校からの紹介
- □ 新聞記事を見て
- □ その他（　　）



そらプロ　特定非営利活動法人 そらいろプロジェクト京都

ご記入ありがとうございました。

そらプロ 特定非営利活動法人
そらいろプロジェクト京都

カルテ NO

ふりがな 氏　名		生年月日	・　　・
		ＴＥＬ	
ニックネーム		携帯番号	
保護者名		メールアドレス	
住　所	〒　　ー	備　考	

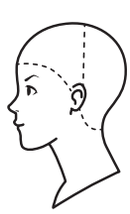
（○）必要・使用可　（×）苦手・使用不可　（ー）克服した・もともとできる

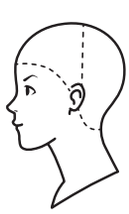
／　／	担当	メモ 絵カード（有・無） タイマー（有・無）時間　分 椅子に座る（　） タオルをまく（　） クロスをまく（　） 髪を濡らす（　） ハサミで切る（　） バリカンで切る（　） シャンプーする（　） シェービングする（　） ドライヤー（　）	
スタイル 			
メニュー・その他メモ			
時間		料金	¥

／　／	担当	メモ 絵カード（有・無） タイマー（有・無）時間　分 椅子に座る（　） タオルをまく（　） クロスをまく（　） 髪を濡らす（　） ハサミで切る（　） バリカンで切る（　） シャンプーする（　） シェービングする（　） ドライヤー（　）	
スタイル 			
メニュー・その他メモ			
時間		料金	¥

／　／	担当	メモ 絵カード（有・無） タイマー（有・無）時間　分 椅子に座る（　） タオルをまく（　） クロスをまく（　） 髪を濡らす（　） ハサミで切る（　） バリカンで切る（　） シャンプーする（　） シェービングする（　） ドライヤー（　）	
スタイル 			
メニュー・その他メモ			
時間		料金	¥

／　／	担当	メモ 絵カード（有・無） タイマー（有・無）時間　分 椅子に座る（　） タオルをまく（　） クロスをまく（　） 髪を濡らす（　） ハサミで切る（　） バリカンで切る（　） シャンプーする（　） シェービングする（　） ドライヤー（　）	
スタイル 			
メニュー・その他メモ			
時間		料金	¥

／　／	担当	メモ 絵カード（有・無） タイマー（有・無）時間　分 椅子に座る（　） タオルをまく（　） クロスをまく（　） 髪を濡らす（　） ハサミで切る（　） バリカンで切る（　） シャンプーする（　） シェービングする（　） ドライヤー（　）	
スタイル 			
メニュー・その他メモ			
時間		料金	¥

／　／	担当	メモ 絵カード（有・無） タイマー（有・無）時間　分 椅子に座る（　） タオルをまく（　） クロスをまく（　） 髪を濡らす（　） ハサミで切る（　） バリカンで切る（　） シャンプーする（　） シェービングする（　） ドライヤー（　）	
スタイル 			
メニュー・その他メモ			
時間		料金	¥

明日へのメッセージ

今回の講習会を終えて、大変多くの方々が発達障害に対し、関心を持っておられる事を知り驚いております。

私自身、発達障害の学習を通じて、いろいろと気づきを得ることができました。おそらく、この事を知らなければ、相手のことを理解できずにいたことでしょう。そして、思い返すと、いつもなぜだろうという疑問を抱いていました。やはり、この活動を広めていくことの必要性を感じずにはいられません。

美容師として、教育に携わる者の一人としましては、学生においてもこの障害について知ることは、人とのかかわり方を円滑にし、ひいては豊かな人生につながるのではないかと考えております。

また、国及び地方公共団体におかれましても様々な啓発事業を推進していただいているところですが、まだまだ一般には広く認知されていないと感じる事が多くあります。
どのような形で実現できるかわかりませんが、今回の事業参加を機に、教育の場でも発達障害についての啓発を取り入れていけたらと思います。

最後に、本事業に携われましたことに大変感謝するとともに、少しでも多くの美容関係者が関心を持ち、このような活動に対し理解が深まることを願っております。

2018 年 3 月

京都美容専門学校　校長
西　初美

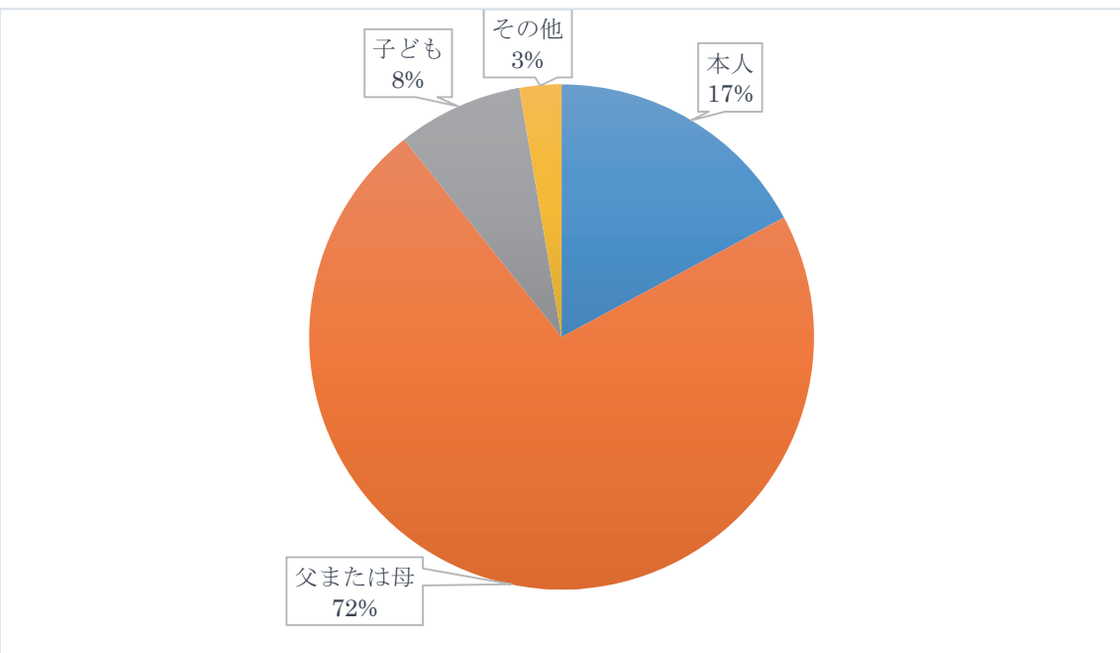
資料編

発達障害者のヘアカットに関するアンケート調査結果

1　あなたと対象となる方の概要についてお答えください。

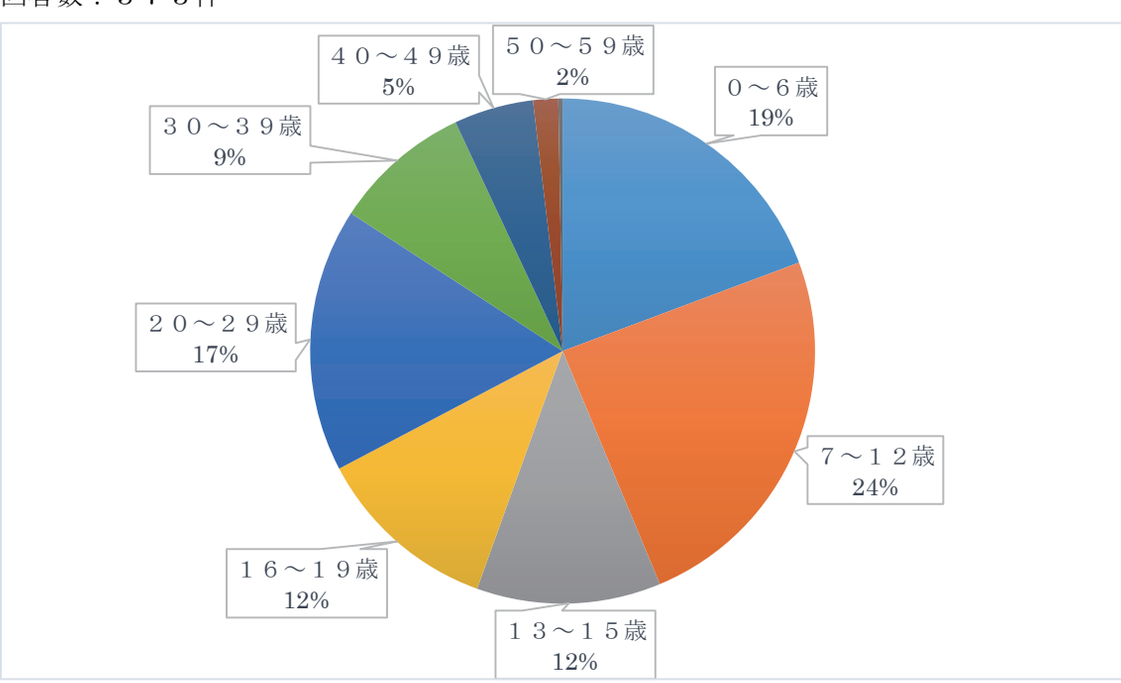
１－１　あなたと対象となる方の関係について、あてはまるものを選んでください。

回答数：３７３件



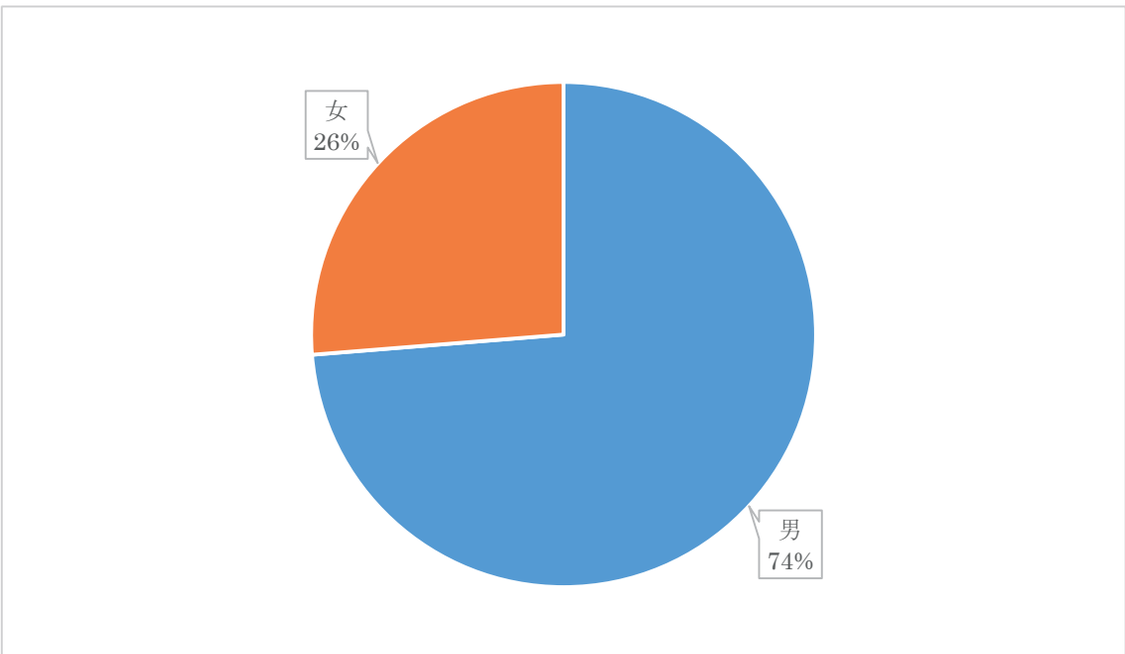
１－２　対象となる方の満年齢

回答数：３７３件



１－３　対象となる方の性別

回答数：３７３件



１－４　おすまいの都道府県はどちらですか

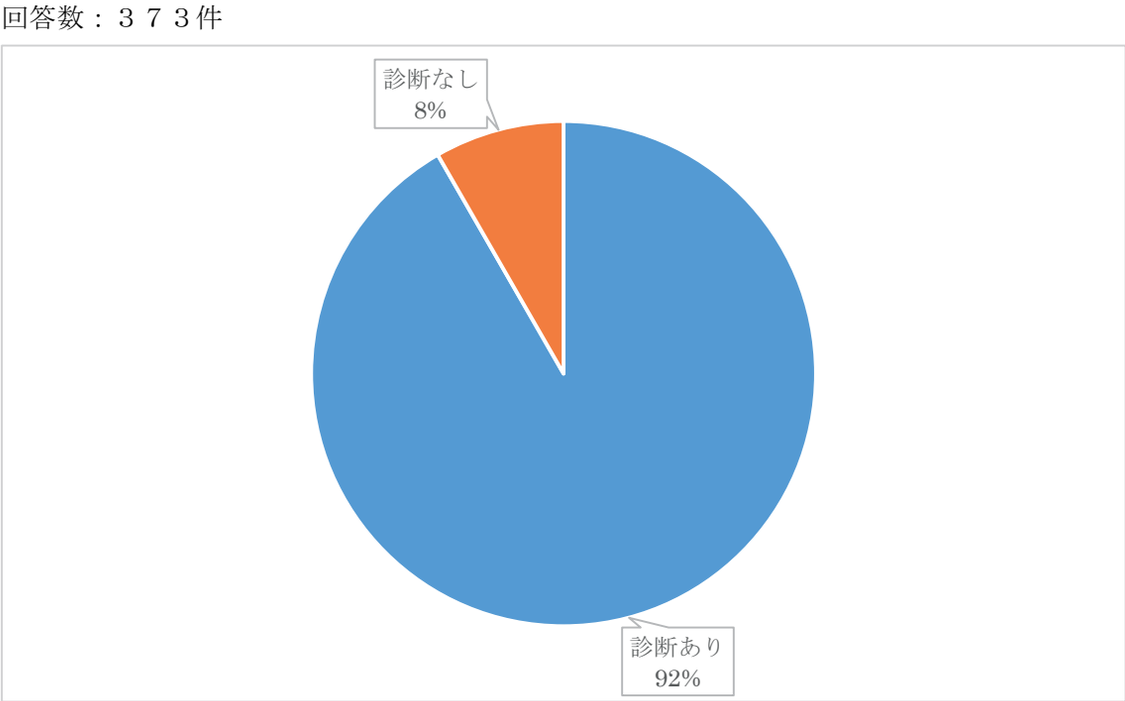
回答数：３７３件

３６都道府県より回答

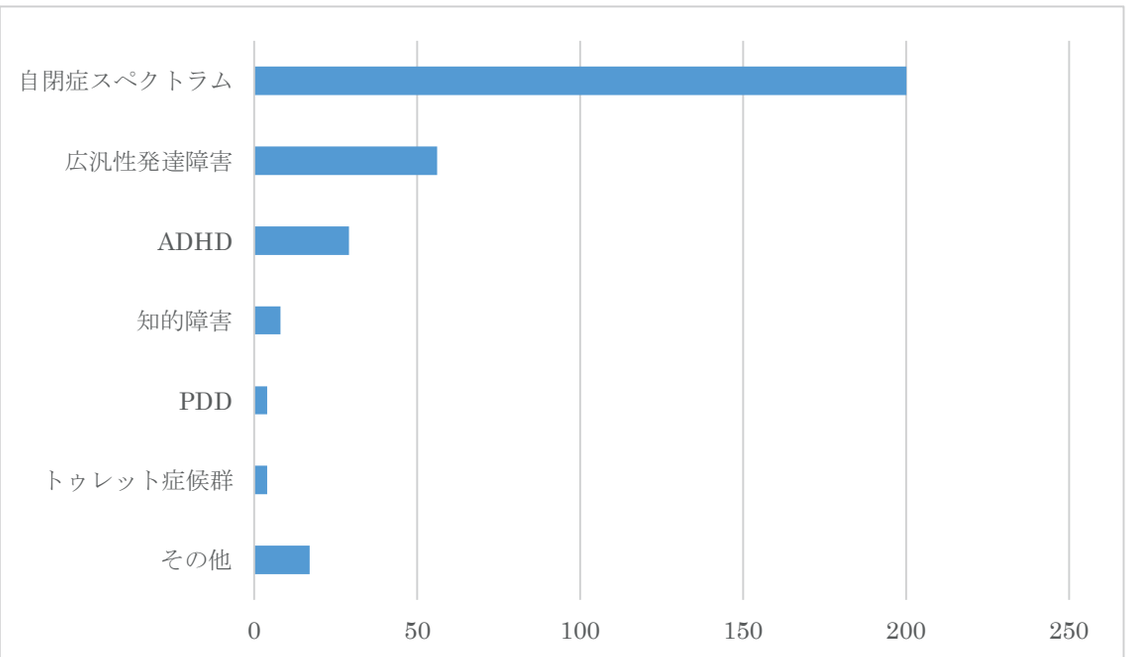
２　対象となる方の心身の状態についてお答えください。

２－１　診断の有無

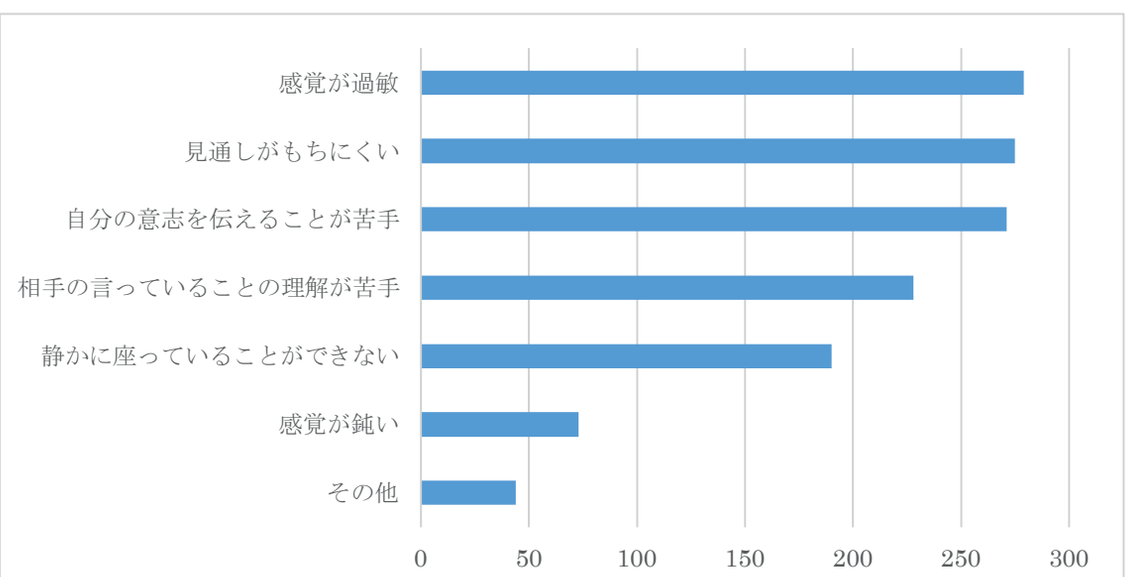
回答数：３７３件



２－２　診断ありの場合の診断名についてお答えください。（診断名が複数記載されている場合、主たるものを集計）



２－３　下記の特徴のうち、あてはまるもの（すべて）を選んでください。（複数回答）



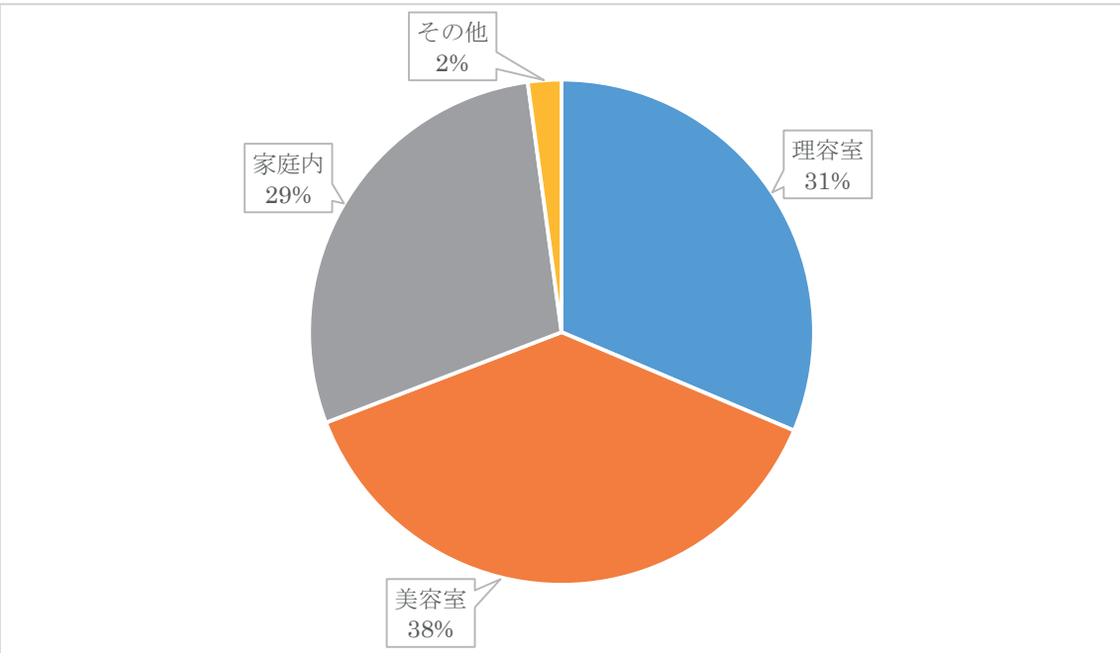
２－４　上記の他にヘアカットを苦手にしていると思われる要因があれば、具体的にお書きください。

別添１

３　ヘアカットをどこでしているかお尋ねします。

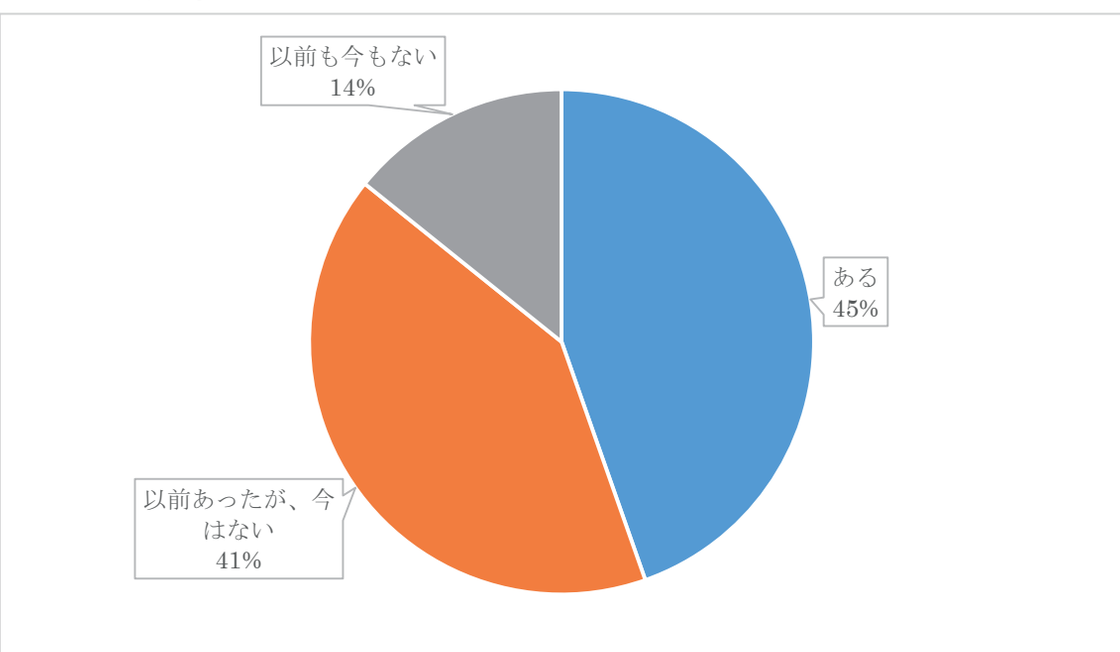
３－１　対象となる方は、ヘアカットをどこでしていますか。

回答数：３７３件

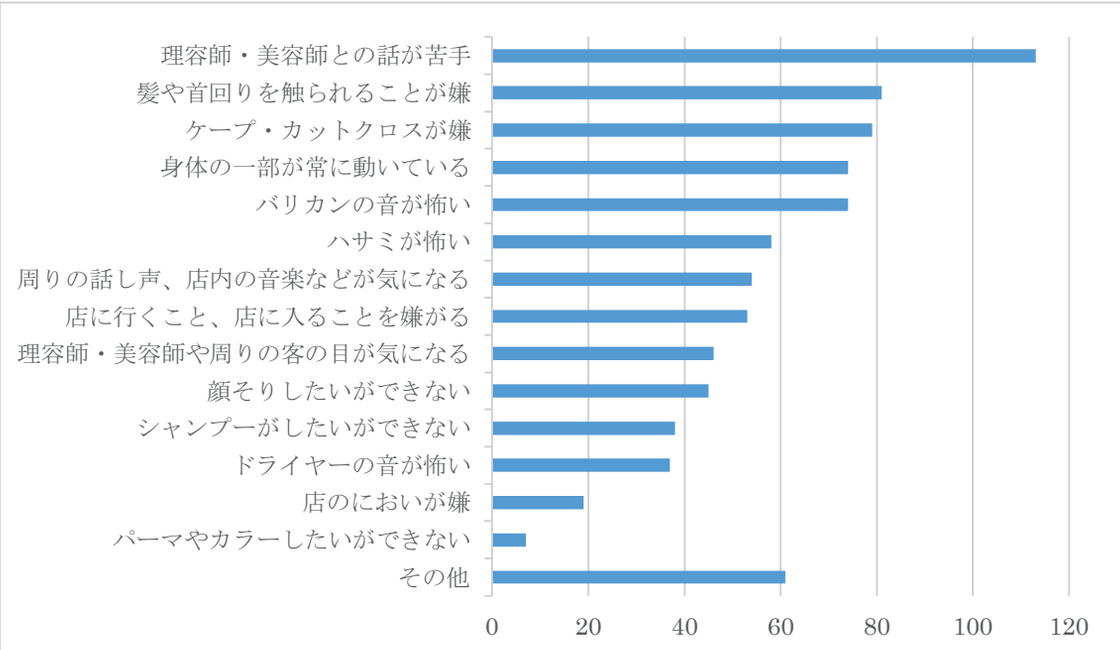


４　３－１で「理容室・美容室」とお答えされた方にお尋ねします。

４－１　対象となる方の理容室・美容室でのヘアカットについて困ったことや悩みはありますか。



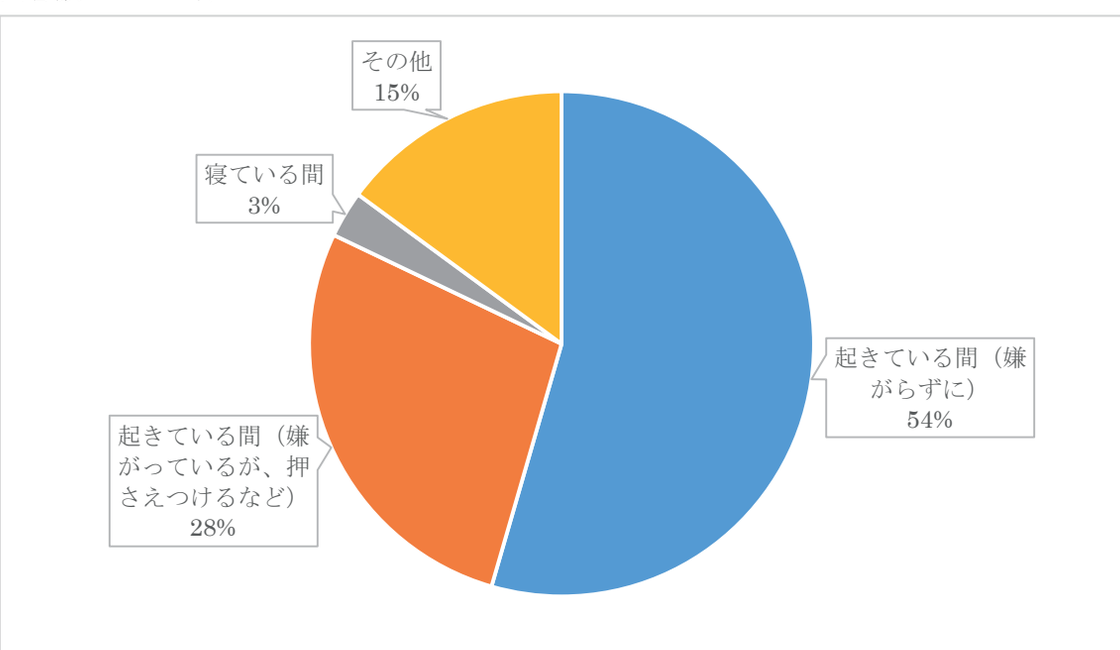
４－２　現在または過去に、理容室・美容室でのヘアカットで困ったことや悩みについて、あてはまるもの（すべて）を選んでください。（複数回答）



５　３－１で「家庭内」を選んだ方にお尋ねします。

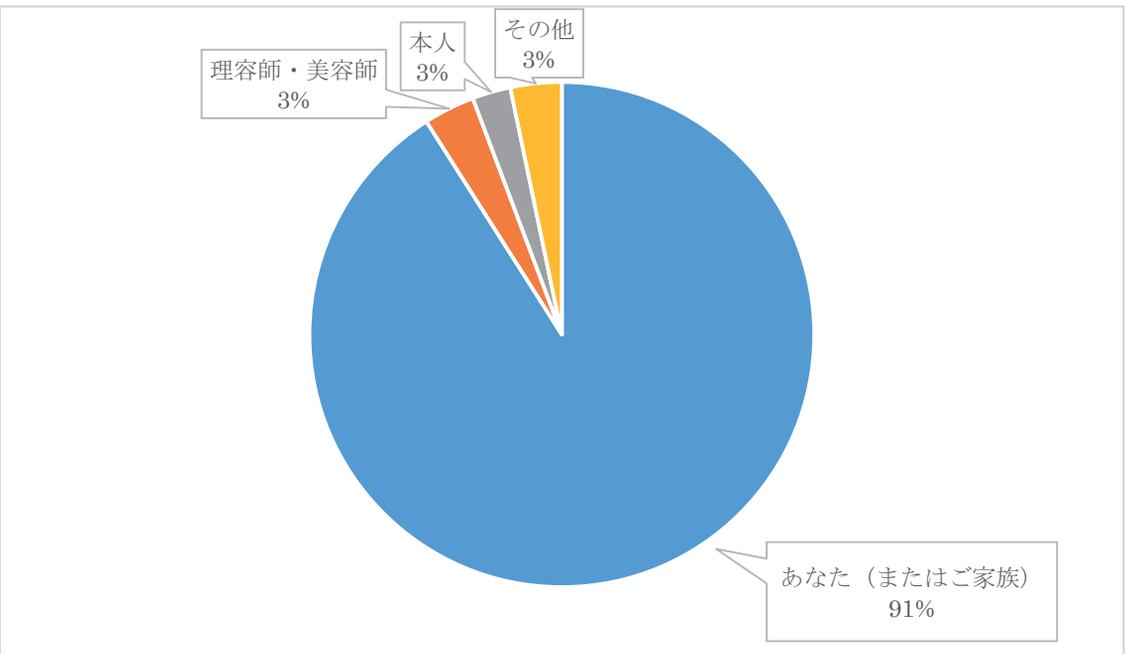
５－１　ヘアカットをいつ、どのようにおこなっていますか。

回答数：１３４件



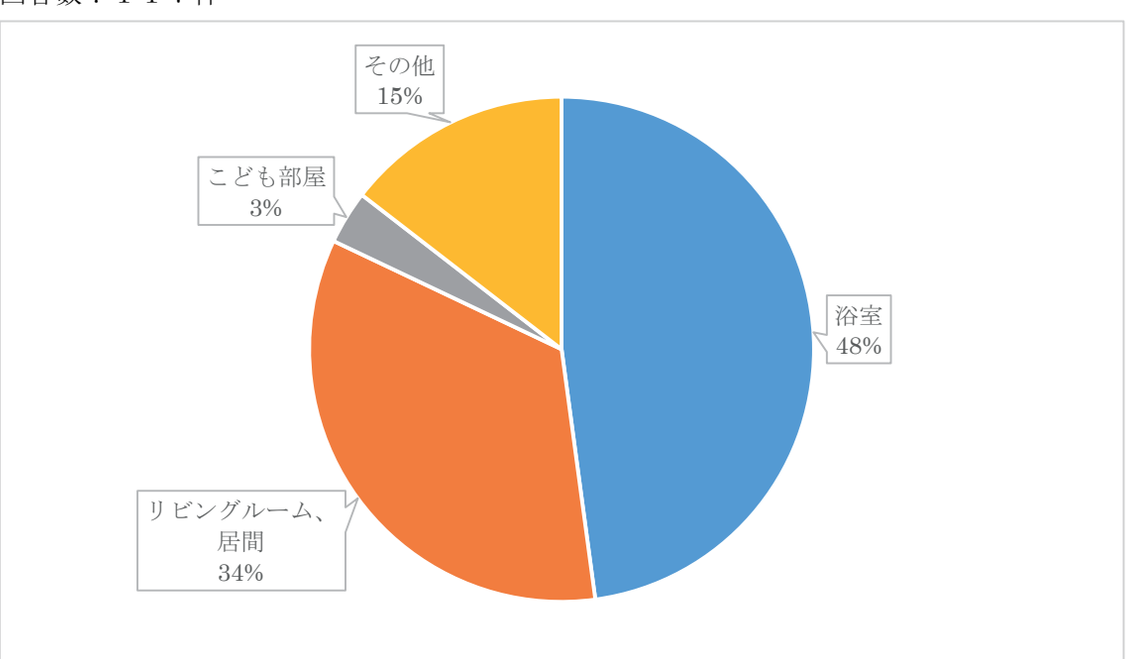
５－２　ヘアカットを誰が行なっていますか。

回答数：１２２件

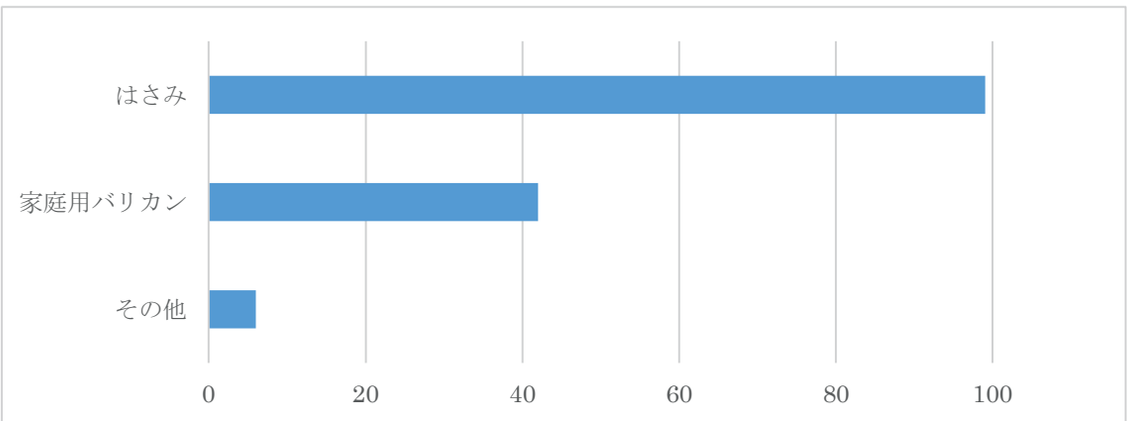


５－３　ヘアカットを家庭内のどこでおこなっていますか。

回答数：１１７件

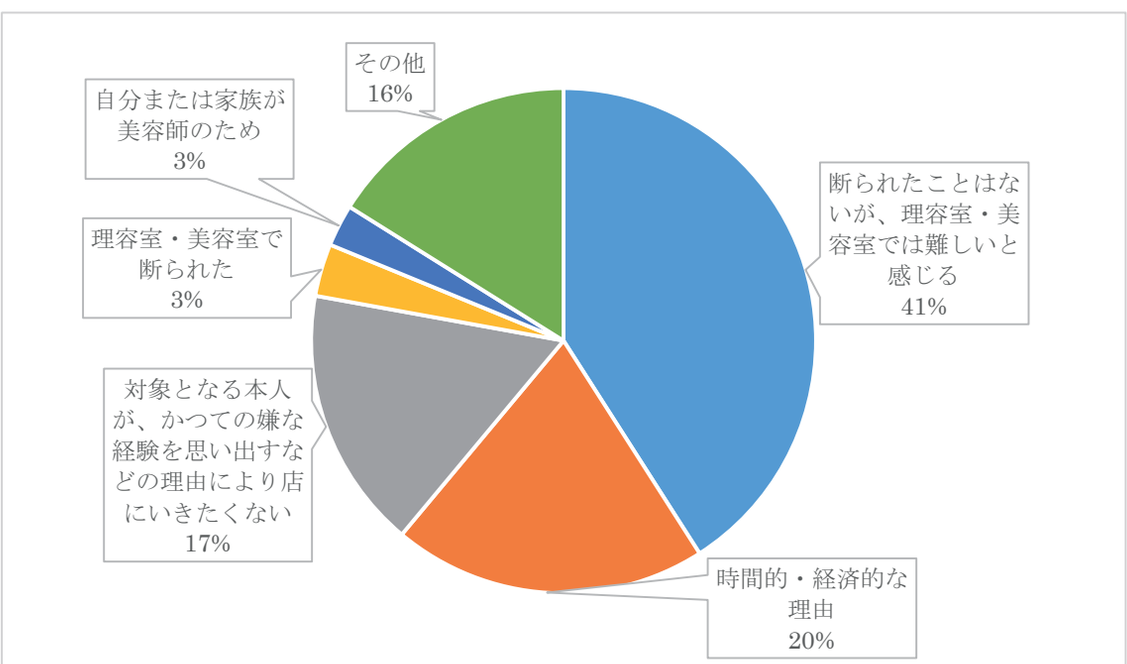


５－４　ヘアカットは何を用いていますか。（複数回答）



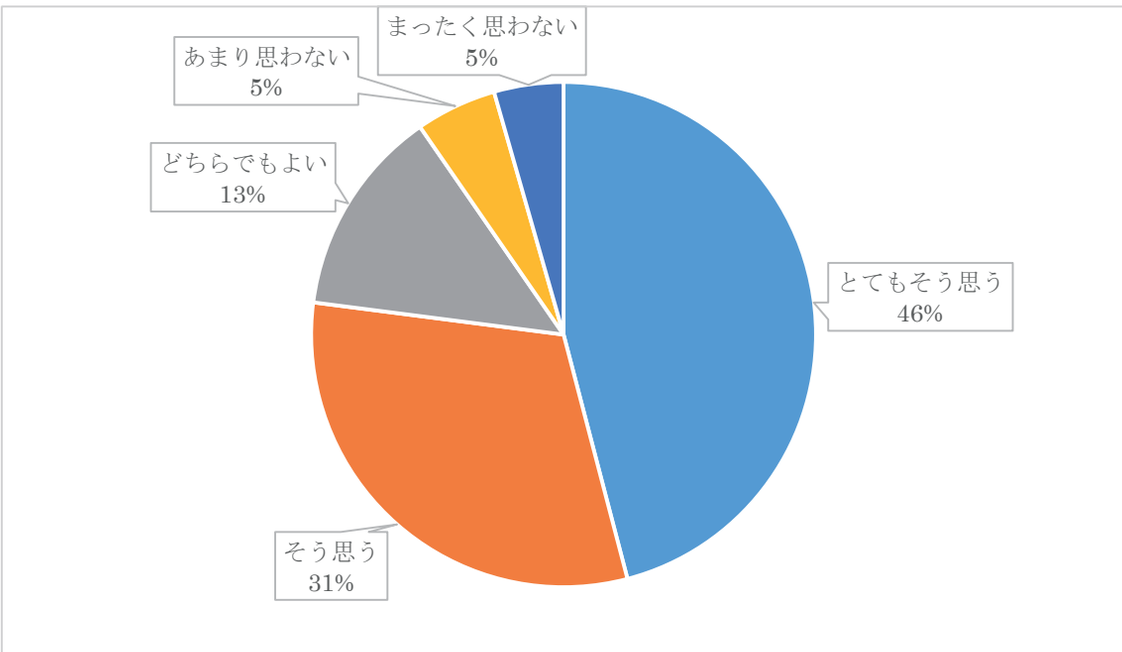
５－５　美容室・理容室ではなく家庭内でカットする理由。

回答数：１４９件



５－６　将来、理容室・美容室でヘアカットしたいと思いますか。

回答件数：１３５件



6　最後に

６－１　その他、理容室・美容室でのヘアカット（予約などもふくめて）について、ご意見・ご要望がありましたら、自由に記入ください。

※別添２

別添１

- バリカンの音が苦手。
- ハサミが怖い。
- 同じ髪型ではなく、違う髪型にしたい時に上手く店員さんに伝えられない。
- 切った髪が顔にかかるのが嫌だ。
- 雑音（他の人の会話や、ドライヤーの風音など）があると人の言葉が聞き取れないため、何度も質問を聞き返してしまい気まずい。
- （これはアスペルガーのせいなのかわからないが）女性らしい容姿に抵抗があるため、女性誌で人気の髪型になるようにパーマやヘアカラーを勧められると辛い。
- 使用するシャンプーやトリートメントの香りが強いと頭が痛くなる。
- アトピーの為、シャンプーを念入りにされると、痒みがましてしまう
- バリカンやハサミの音が長時間無理。1 度「痛い（全ての感覚を熱いと痛いで表現。）」となったらパニックを起こして泣き叫ぶ。
- 髪型へのこだわりが強くて、なりたい髪型の要望が強すぎて大変です。
- まず連れていけない。
- ハサミを自分が触りたい。
- ヘアカット中の会話。
- ビフォーアフターの自分の顔が違う様に感じるから
- ずっと私（母親）がカットしていたので、そういうものだと思っていましたが、以前の通所先に美容師さんが来てカットしてくださっていた時には問題なくできていましたので、一般のヘアサロンに連れて行くのを私が敬遠していたんだと思います。
- 切った髪が体につくとチクチクとかゆくなるみたいで取ろうとする
- マントみたいなのに散らばる髪の毛が気になる。額や頬にくっつくのも苦手。
- 後ろに倒れるシャンプー台がこわそう。
- 以前は家で、美容師経験の方にしてもらっていましたが、鏡の前でしていなかったので、何をされてるかわからず不安だったのかな？と思います。
- 慣れていようがいまいが，人と話すときに緊張する。
- 時間（どのくらいかかるのかの見通し）の感覚がわかりにくい。
- 鏡を見たくない、話に応えなければならない、ヘアカットを他者に言及されたくない。
- 嫌な思い出。
- 自分が、してほしいと思う髪型、色などをうまく伝えられない。
- 美容室という環境を特別な異質なものととらえている。

- 状況把握に時間がかかる。
- 上手に希望を伝えたり雑談ができず気まずくなり、雑に扱われる気がする。
- 髪の形が変わること（変化）が苦手。
- 前髪など自分で見えるところはいいのですが、後ろなど自分の見えないところを切られるのは嫌なようです。
- 時間をかけることができない、顔頭身体が突然、動くので危険が伴う。
- 人に強い関心があるため、美容師さんの顔を見つめて動く。
- 希望するヘアスタイルを根掘り葉掘りきく美容師が耐えがたく不満。（こっちは素人でプロにお願いしているんだから、細かいことは自分で考えろと言いたい）。
- 美容師に自分の話を根掘り葉掘りきかれたくない。（美容師が勝手にしゃべり倒すのを聴き続けるのは可）。
- 注目される。髪型が変わるのが嫌。美容師さんの明るいノリ。
- 自分の希望が殆どない。
- 理由はわからないが　カット中はつばをのみこまない。
- 散髪髭剃りが恐い。
- 自分の体をいじられる恐怖心（音や刃物の光など）。
- 自分でやりたがる（母以外は嫌）、シャンプー台が怖い。
- 私の周囲は2次障害でひきこもり者も多いのですが、「お仕事なにされていますか？」とかただでさえ雑談が苦手な当事者が多いのに、更に身の上話というのは「発達＋ひきこもり」には相当なハードルだと思う。
- 息子が 1 歳の頃から自宅でバリカン使用、聴覚過敏で 2 歳頃から暴れるようになりました。病院の注射も暴れるので数人の大人に押さえつけられるのが怖くて、カットの際も暴れます。またハサミを使うと音が気になって振り向いて危ないのでバリカンで一気に刈ってます。
- 匂いがつらい。待ち時間に放置されると不安になる。待ち時間の目安を教えてくれないことも多い。拘束時間がつらい。ケープ？体に巻くマントみたいなのが苦しい。
- 水をいつかけられるかわからずに警戒している（冷たいから）
- カットしてくれる方の話し方がキツイとダメです。
- 身なりがあまり気にならない
- 耳を切られてしまうという感覚あり。
- 頭髪の短い自分の顔が嫌いで、自分の容貌に一種奇妙なこだわりがあることが関係しているように思う。
- 気になる事・物に突然反応し、動くので危ない。

- おしゃれに興味がない。
- カットすることの認識不足、他者からどう見られるかということに対する鈍感さ。
- カットをした後に人に『カットした？』と聞かれるのが、とにかく嫌。
- 成長と共に嫌がり方が増す中、母（私）が無理矢理切ってしまったことが何度かあり、その記憶がフラッシュバックするようです。
- 信頼関係ができてない人に髪を切ってもらうのは難しい。
- スタイルを自分で決めることができない。
- 雑談、化粧ぐさい。常連になるのがいや、高すぎる。早口。はーへーほーおーで聞く気ないでしょ。ばかにされている。
- 色々話しかけられる。
- 幼い頃は、髪が切られて落ちてくるのが視覚的に怖かったようです。今は、バリカンで散髪してますが。
- 醜態恐怖があります。

別添２

- ヘアスタイルの希望をうまく伝えることができないので、シンプル（基本的）なヘアスタイルの写真があると希望を伝えやすい。店員さんとの世間話も苦手。本人にこだわりがあり、自分で短い丸刈りにしてしまうので、社会人としてふさわしい髪型にしてほしいが、大人なので対応が難しい。
- 小学生のころ住んでいた町では格安理容のプラージュに行っていましたが、顔そりのシェービングブラシが苦手で、毎回「顔そりなし」でお願いしていました。息子のいっていたプラージュは障害者に対応していて、障害者施設に入所していると思われる知的の方をよく見かけました。息子は小 2 くらいまではこだわりが強く、理容室に連れていくことを諦め、自宅で主人がカットしていました。友人からプラージュのことを聞き、通い始めました。最初は私が横に付き添ってカットしてもらいましたが、慣れてきたら一人でも OK になりました。
- 「コミュニケーションが取れない」と説明すると、一生懸命話しかけてくださるのですが、むしろ黙って作業していただく方が本人がラクだったりします。親として美容師さんに申し訳ない気持ちです。
- チェーン店のような理容室でも発達障害の認識を持ってもらえたらと思う。
- 療育園に通っていた頃(3,4 歳)に療育園への出張福祉理容からスタートし、その福祉理容の理容師さんのお店に何度か通い、その後自宅近辺の理容室に事情を話して理解してもらい、現在までずっと(5 才から 12 才まで)カットをお願いしてます。最初から全ての内容 or 工程を目指すのではなく、後ろ髪だけ、頭頂部も、耳周りも、前髪も、とスモールステップで徐々にできる事を増やしてきました。ずっとしないと言っていたシャンプーも、先日始めて本人も同意してする事ができました。時間はかかりましたが、お店の場所にも、お店の方にも少しづつ慣れてきました。毎回できる事を増やして、その事を親子で確認して自信がついてきた事と、髪をカットしてもらった後のスッキリした気持ち良さも分かるように伝えてきた事が良かったかなと思います。※刈り上げた髪の毛を手で触らせて、その手触り、撫でられる刈り上げの頭髪の特有の頭皮の感覚を感じさせながら「気持ちいいね、スッキリしたね」と毎回言葉掛けしていました。
- 自分がはじめにカットしに行って、工程ごとに写真を撮らせてもらい、本人が行くときにスケジュールとして持っていき、視覚支援できたことは良かったと思う。ケープを嫌がるので美容室のものではなく、レインポンチョを着ていったときもあった。要望をきいてもらえるとありがたいです。
- 以前は自宅でカットしていました。年頃になり、親の通っている美容院で子どもの特質を話し、何度が共に行って安心させました。今では一人で行きます。（親が予約をします）
- 電話が苦手なので（相手の言葉が聞き取れない、意図が汲み取れない）、ネットで予約も注文（髪型や接客の仕方）もできる店が増えたのは有難いです。自分で切っていた時もありましたが、今はなんとか通える美容室が見つかり、やはりプロに切っても

らうほうがいいなと思っています。

- 美容室の立場からですが、初めての予約を入れていただく時に、お子様の特徴などを簡単でいいので、伝えていただければと思います。美容室はたいてい、ＢＧＭを流し、照明も黒い髪が見えるように明るい照明となっている場合が多いです。パーマ、カラーなど薬剤を使用するため、臭いもあります。感覚過敏があるようでしたら、最初からカットを行うのではなく、まず店の雰囲気に慣れる為だけに来店したい旨を伝えてみてもいいと思います。(それをＯＫとしてくれるかどうかはそのお店によると思いますが)
- 視線の高さを子供の高さにしてもらえると落ち着くこともある。
- 飽きてしまわないように、テレビやビデオみ見せてくれるなど。
- どんな髪型にしたいか？長さはどうしたいのか？を聞くときに、イラストや写真があると、自分の希望に近いものを伝えやすくなると思う。
- たまたま、近所の理容師さんが適度に構わないでくれたので助かりました。顔剃りも無理にしないで、でも少しずつ試してみてくれて、多分６年越しで出来るようになりました。本人も、髪形にそれ程こだわりがないのでそれも幸いして、多少困りましたが何とかなりました。
- 本人のやりたい髪型に付き合って貰える気の長さがないと大変かなって思います。
- 特別支援学級の先輩お母さんが経営する美容室に通っていて、本人も家族も安心している。練習して予約からカットまで一人で行けるようになった。
- 個室、またはパーテーションがある、DVD がカットしてもらいながら、見ることが出来る環境であるとありがたいです。
- 慣らしの回を設けてもらう、何回かに分けて切ってもらう、シャンプーはしない。などあると行きやすい。
- 美容師と発達障害の理解が理美容師にすすむといいと話していたところでした。理解を深めていただくと助かります。
- 「バリカンが苦手なので使わないでほしい」と伝えても、「ちょっとなら大丈夫かと思って」等、使われてしまう事が過去何度かありました。１、２度目は使用しなかった為安心していたら、３度目の来店時、親が席を外したちょっとの間に使われてしまったことも。１度使われた理容室は２度と行きたがりません。すべてはさみで行うのは時間も手間もかかるのでしょうが、どうか理解をして頂きたい。
- まだ小学生の頃の話です。刃物を扱うことでの危険を考えられているのはわかるのですが、怒鳴られると萎縮するし、髪を切りに行くこと自体を怖がって、困っていました。家庭で切っても、やはり、私が慣れないため、痛がって嫌がりました。ギリギリまで切らなかったり、ご理解いただけるかどうか悩みながら店を選んでいました。ご理解いただけるお店が増えて、それを伝えていただけるステッカーなどが店に貼ってあるととてもわかりやすくありがたいです。
- 髪の毛を切る事は、大人でも想像と違う事もあり、先を見通ししても難しいと思います。理解ある美容師さんが多いくなるといいな。と、願います。

- 発達障害者（特に我慢のできない幼児期）のヘアカットは大変です。頭皮の感覚過敏も多いと思います。理容師・美容師業界での理解が進むことを期待しています。
- 研修プログラムを作成する、とありましたが、あまり必要ないと思います。発達障害に限ったものではなく、お客様は本当にそれぞれで、苦手さのある方もいらっしゃいます。一言お伝えいただくだけで、美容師も出来るだけ合わせた配慮をしていると思います。また発達障害と言っても本当に様々なので、研修プログラムとして限定されたものになってしまう事に不安も感じます。
- 慣れだと思います。
- 本人が一人で行っているので、レシートいただけるとありがたいと思う。次回時にいくら持っていかせたらよいか忘れてしまうので。
- 障害者むけのサービスを行っているお店はどんどん情報を発信してほしいです。自閉症協会の HP や会報などで、事例紹介してくださると、我が家も挑戦してみる気持ちになるかも、と思います。
- 出来るだけ短時間ですませていただけると助かります。
- 1000 円カットのお店に連れて行きます。予約がいらないのと、待つ時間が短くわかりやすいのと、カットの時間も短く素早く丁寧です。しかし、店員さんやお客さんがほとんど男性で、とても行きづらいらしいので、女性向けか、女性も利用しやすい同じようなお店があると、いいなと思います。
- ３０分で終わると言ったからにはちゃんと時間内に終わってほしい。
- 今お世話になっている美容院は、息子の特性を理解して丁寧に接してくださるので、そういう所が増えればいいなぁと思います。
- いま利用しているところは、10 分以内でカットが終わりますが、他のお客さんがいると、待ち時間もあり、どのくらい、時間がかかるのか不安になるようです。待ち時間、カットの時間を短縮できるところを見つけたためいまは大丈夫になりました。どのくらい、カットに時間がかかるのか見通しがつくことがとても必要でした。
- 小さい頃は、座っていられないため、自宅のビデオを見せながら、美容師のママ友達に切りに来てもらいました。バリカンの音が苦手で、一度、理容室でバリカンで大泣きし、しばらく通えませんでした。いまは大きくなり、バリカンが苦手と伝えることができ、短い時間で切ってもらえる所を見つけたので、首回り触られるのも苦手ですがなんとか切ってもらえてます。
- 初めて行く場合はお店に慣れるまで、空いている時間もしくは時間外にカットして貰えると助かります。場所、人、雰囲気に慣れたら多少お客さんいる時間でもカット出来るようになると思います。
- 突然パニックを起こす可能性もあり、最初は場所や従業員の方に慣れることから始めることになると考えています。
- ①予約できること、②できれば客は本人だけが希望、③手早く仕上げてほしい、④黙って、ささっとが希望、⑤多少動いても、慌てたり、動揺しないでほしい
- 話さなくて大丈夫な理容室美容室がもっと増えて欲しい。個室が欲しい。

- 何が困ることなのか事前に伝えられないことが多いので、一つ一つ、確認しながらヘアカットを進めてもらえると、本人も安心して任せられると思います。
- 本人や家族の希望、カットの日時やキャンセル等に対応してもらえて助かっている。カットする環境を整えて、日常に組み込んで行く必要性を強く感じている。身辺の清潔を整える事は、本人の将来の自立に大きく寄与すると期待している。
- 障害児のヘアカットの重要性（おしゃれの楽しさや画一化の打破）を伝える場がもっとあってもいいのかなと思います。
- 特性を理解して頂き、本人が落ち着ける環境設定を望みます。
- 同じ発達障害でも個々の特性が異なることを踏まえた支援を考えていただけると幸いです。こうした啓発活動が行われること、感謝します。
- 小さい頃はそばについていないと不安がっていたので、小学生くらいまでは付き添えるような設備があれば助かります。（周りが広いスペースの席など）
- 今は私と同じ美容師に行き、とても息子の人間性を認めて下さる方なので 安心して1人で行っております。
- （中年女性だが）カットだけは邪険にされる感じがする。オプションの営業が煩わしい。手早くしてほしい。何人も交代するのが苦手。おしゃれすぎると、自分がそぐわない感じがして気疲れする。AI化になればいいなと思う。
- 今もとても困っています。先日はクッションを投げつけたり大騒ぎして困りました。バリカンが苦手で長めのヘアスタイルを希望しているため、自宅ではカットが難しいです。近々美容院に行く予定ですが、子ども用のクッションをやめてもらいケープを使わないようにお願いしました。美容院の方にご迷惑がかかりますし、どうなるか不安です。どうすればいいか教えてほしいです。
- 今まで特にこれは嫌だなと思う理容室や理容師さんに出会ったことがありません。小さい頃は待つことが今以上に苦手だったので、店に行くとすぐに切ってもらえるところに行っていました。ここ何年かは同じところに行っています。何度も行くことができる理容室があることは、こういう子を持つ親として有難いです。
- 引きこもりだと、髪を切らない・お風呂に入らない・など常識では考えられない生活状況のことがあります。家族も大変な思いであることを、理解して関わってもらいたい。
- 友人の美容師にお願いして、5分でカットしてシャンプーは無しで無理にお願いしています。できれば自宅の近くで理解してくれるお店があればたすかります。女性なのでショートでも可愛らしくカットしていただきたいのが希望です。周りのお客さん方たちにも、そんな障害者もいるんだと、理解していただけると気がかるくなります。
- 座面が高く足がブラブラすると不安定。足を置ける台があると嬉しいです。
- 今通っているところは車椅子で行くには少し段差があります。私と美容師さんで車椅子を持ち上げて入ります。そして、予測不能な動きがあるので毎回車椅子は髪の毛だらけに。メッシュ生地なので入り込む。障害が重いと車椅子もそれぞれの身体に合

わせて作るので、押す部分を収納できるかどうかや、収納のしかたも構造も様々ですが、美容師さんが切りにくそうというのも少し思いました。かといって、普通の椅子に乗り換えられる人と乗り換えられない人がいると思うので難しいですね。我が家はもう少し大きいケープ？があれば動いてもずれなくて髪の毛が車椅子につかないかも？とは思いました。発達障害に限らず、身体や重度心身障害者や悩みがあると思いますので、こういう取り組みは有難いです。髪を切る技術以外に、子どもに接する機会が普段からある方かという所も選ぶ際のポイントになります。

- 発達障害だけじゃないけど、見通しの持ちにくさがあると思う。様々な手順や時間を予め大体で良いので教えておいてほしい。
- 素敵な取り組みですね。感覚的な課題、見通しの課題など、特性理解に基づき一つ一つ、一人一人の課題を乗り越えて頂けたら嬉しいです。
- 予約はホームページ上のフォームで完結できたほうがよい（電話連絡で込み入った話を聴くのは難しい。メールの文面をいちから考えるのも面倒に感じることがある）。診断を受ける前から頭皮が敏感なため、パラベンフリーのシャンプーを扱う美容室しか利用しなかったので、今後利用する場合も無添加シャンプーを希望する（障害に配慮し個人的なことを根掘り葉掘りきかない美容師が大前提だが）。
- 動きの読めない子どもにハサミを持つのは、美容師さんにとっても恐怖のはず。母親が腕をあげるしかないと思います。
- 予約時間をきちんと守って欲しい。
- 席は彼が落ち着く所を選ばせて欲しい。何か気が紛れる物（動画とか）見せられるパッドとか用意してくれると良いかもしれない。終わった後、褒めてあげてほしい。音楽小さめ、照明少し落とすと楽かもしれない。
- 私は自分の髪型のカットは、全て夫に任せています。主人の好みにしているからです。
- 息子は、成人した今は床屋に慣れて一人でヘアカットに行ける様になりました。が、ここまで来るまでに子供のころから一つ一つ小さなステップを経て現在に至っています。幼少時はとても床屋でヘアカットできる子供ではありませんでしたが、母の散切りカットから始まり訪問理容、息子を知る床屋のおばちゃん…と少しずつ場所や人、道具に慣らしていけたのが良かったのかもしれません。「少しずつ慣れていく」を理解して個別対応していただける「人に優しい理・美容院」には自然にお客さんが集まると思います。
- 子供が cut に飽きない声かけをしてもらえると嬉しいです。
- 待つことも苦手なので予約しています。音に関しては、耳栓を使用。小さい頃からずっと同じ理容店を利用していて本人についても説明している。
- 今は完全予約制で時間も決まっていて、理容師さんも理解があり問題なく行けています。
- 息子が行きつけのお店はこぢんまりとしたアットホームな雰囲気です。担当の方も小さい時から決まっていて、丁寧に「くすぐったい？」「いける？」と聞きながら進

めてくれていました。おかげで、安心して通うことができました。合間にゲームの話しをしてくれたりとても楽しそうに過ごせています。今でも、首回りの感覚は過敏ですが、「首、くすぐったいねんなぁ。」と言いながら対応してくれるので、一人で安心して通うことが出来ています。

- 今、通っている美容室に出会うまで、断られ続けていました。じっと座ってられないので危ないという理由で。それはよく分かりますが、小さい頃ならまだしもある程度大きくなってくると、親が切った髪型でいるのはかわいそうで。（家で切る場合、髪の処理など大変） バリカンで仕上げる方法もありますが、楽な坊主頭の選択しかないというのもかわいそうで。プロの方がハサミを入れるとやはり仕上がりが違うので、ササッとでもいいのでできるよう、座れないからダメとすぐ帰すのではなく、どうにか切れないものかと歩みよって検討してもらう姿勢があるとありがたいです。また、利用しやすい範囲の料金で家に訪問してカットしてもらうサービスがあれば非常にありがたいです。
- 長い時間椅子に落ち着いて座れないし嫌だと大暴れや大泣きするので他のお客さんに迷惑をかけてしまう。座っていなくても落ち着いている時にカットしてくれたらいいのかなと思う。子供がカット中に嫌がったりした時に美容師さんが嫌な顔をすると辛い。子供もそんな顔を見るともっと嫌になってしまうから。
- じっとしていられなければムリと断られる。
- どこまで障害を理解してもらえるか、そもそもお願いしていいものなのかわからない、騒いでしまって周りのお客さんに迷惑にならないかも心配で今まで理容室などを利用できず、とりあえず、私(母)が切っています。
- 障害があるというと怖がられる。混んでいると予約しても待つことがある。
- 好きなDVDを持って行って見られる。音が小さいバリカンがあればうれしい。
- 行く側が見通しを持てるように支援する必要が、第一だと思います。最初の内は、予約時間びったりにはじめて頂きたかったというのがあります。待ち時間を如何に少なくするかも重要だと思います。慣れると、待ち時間がある方がよかったりもしますが。
- 白衣などは嫌がるし、散髪する人が怖がると本人が不安になる。
- 発達を診てくれる病院に併設されていれば嬉しいです。
- 小さい頃は、じっとできない、触れられる事、バリカンやはさみの音も耐えられずに、寝ている間に自宅でカットしていました。学校入学後ぐらいから、練習を繰り返し、理容室でのカットが可能になりました。椅子に座るだけ。首にタオルを巻くだけと、段階的に練習できる環境があると、親としては嬉しく思います。アレルギーもあり皮膚も弱く、頭皮もかぶれます。２０歳をすぎて一人暮らしとなり、恥ずかしさもあったり、感覚の過敏さと、痛みの鈍感さをあわせ持つので、理容師さんからアドバイスをもらっても、逆に話しかけられる苦痛から足が遠のく事もあるようです。髪形もどうすればいいのか、わからないようで尋ねられても答え方が分からないと話しています。ヘアカタログなどの具体的な２．３種類を提示して選択させてくれると助

かります。多すぎても選びにくいので、髪質などからご提案いただけると嬉しいです。後は、雑談などはないほうが助かります。

- 発達障害について、こういう子もいるんだと、(正しい知識で)知っておいてほしい。
- 奇声をあげたりすると、ほかのお客さんに気を使うと思うので、個室になっていると助かります。
- 訪問理容をお願いしています。ただ、遠くから来ていただくので、もう少し近いところで同じような力量を持った方がおられたらありがたいです。
- 毎回優しく女性の方が接して質問等にも答えていただけます。
- 小さい時からなるべく美容院を利用するようにしてきました。お気に入りのクロスを使ったり、他のお客さんが少ない時間に利用したり、子どもの扱いが上手な美容師さんにお願いしたり、何かお楽しみの前にヘアカットを入れたり。小さい時は冷や汗ものでしたが、今では自分で予約して月に 1 度カットに行っています。美容室は小学校高学年ぐらいからずっと同じところを利用しています。
- 他の方の視線を気にせず落ち着いてカットできるスペースがあると行きやすい。事前に保護者の話を聞いてくれると安心です。
- 障害があることを前もって話したら、どうすれば良いかを一緒に考えてくれるような理容室・美容室が増えたら嬉しいです。
- 発達障害ウェルカムなお店と前もって分かるようなお店に行きたいです
- もう少し要望を伝えたいが、じっとしていないので大変だと思い、こちらの要望を伝えにくい。
- どこの理容室に行っても、特性を理解してもらえると嬉しいです。
- 発達障害に理解がある方が担当だと助かります。
- より多くの感覚過敏を持つ人が安心してそして愉しんでヘアカットできるようになれば素敵ですね。
- 子どもだけでなく、大人でも訪問美容が受けられると良い。特に、身の上話（お仕事何してますか？と言ったのは NG）や雑談（女子トークが当事者は苦手なので、ファッションとかトレンドの話題は止めて欲しい）に気を使わないで行かれる美容室があるといい。音や情報過敏の人のために、パーティション（芸能人の VIP ルームじゃないけど）とかで他のお客様と隔離するスペースでヘアカットできると助かる。
- なるべく押さえつけずに済むように、いつかは一人で髪を切りに行けるように楽しいとかリラックスした雰囲気の子供専門で発達障害にも理解がある理容室美容室が増えて欲しい。
- ずっと家で眠っている時にカットして来ました。現在、知人の理容室でカットして頂くようになったので、機嫌をみて気長に待って頂いたり配慮してくださっていてありがたいです。そして、お世話になっている分、言いにくい事もあり、その要望をまとめました。一つの意見として読んで頂ければ幸いです。〇時間に余裕がある時(お客さんが少ない時間帯、次の予約時間に充分余裕のある曜日や時間)に予約を勧めてほしい。カットしてくれる方が忙しい、または急いでいるイライラした雰囲気は伝わ

り、不安感が強く多動が強く出るのを実感しています。〇待ち時間の間、車の中や別室で 順番を呼ばれるぎりぎりまで待てると かなりありがたいです。待つ人達と長く一緒に座っていると、テレビのリモコンを勝手に操作したり、置いてある物を違う場所へ動かしたり、コンセントを抜いたり、歩き回ったり 見通しが無く落ち着かなくなります。〇カットに使わない道具(すぐ側の台に乗せているもの)は小さい布等かけてパッと目に入らないようにしてほしい。台のトレイに上がっている物に興味を持ち、触って確認しようと する。大事な道具を落とす可能性もあるため。〇使うものは、簡単に説明して、見せて確認させてから髪に当ててほしい。説明が無いと、髪に当ててから、気になり首を降って払おうとしたり、手で掴もうとする。〇持ち込んだ DVD を見せても良いと言ってくれるとありがたいです。ポータブルプレーヤーやタブレット端末持ち込み OK にしてほしい。DVD を見せてくれるお店もあるが、本人のよく知らないキャラクターや、かわいいアニメでも内容が難しいと理解出来ず飽きてしまう。ゲームやアプリをやらせると熱中し過ぎて途中でやめるのが難しい。〇タイマーを貸してほしい。または持参したタイマーで、時間の区切りを本人に示すことを許可してほしい〇あとちょっと、もうすこし…ではなく「あと何分」と数値で示してほしい。その時間にさらに 10～20 分程多く見積もって言ってくれる時間のほうが正確です。長々と申し訳ありません。このようなアンケートを実施してくださったことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

- メニューや注文などで自分の希望を上手く言語化できず気まずくなるのがいたたまれない。
- 待ち時間なく、さっと終われるように。店内を整理整頓。次に何をするのか、どこまでやったら終わりなのか、何時に終わるのかなどの見通しを伝えてほしい。
- シャンプーとは別に横になれるような場所があると少し落ち着くかも。椅子に座るより床に座りたい。時間が長すぎてとにかく辛い。
- チャラチャラ雑談しないで、ほっといてほしい。
- 次に何をするか教えてくれるとありがたい。
- 受け入れてくださるお店の HP などに受け入れ OK などの明記があるとありがたい。
- 幼いころは、家でビデオを見せながら親がカットし次のステップで、一般の美容室でビデオを見せながらカットしてくれるところを探し慣れたころにビデオなしでカットをし今では、特に配慮をしてもらっていませんし幼いころに通っていた美容室ではないところでカットをしています。
- 髪を触られるのが苦手、椅子に座っていられないので、歩きながらカットが希望です。
- 他のお客さんがいると、どんな音が出るか分からないので美容師さん一人でやってるところしか行けない。行く前にはドライヤーは見えないようにしてもらってる。カットはハサミのみ等、遠くても要望を聞いてくれるところしか行けない。
- 髪を切るのは不可欠なこと。美容師さんや理容師さんにも、障害をもっともっと広く理解してほしい。対応も知ってほしい。嫌な顔や困った顔をされると、とても辛い。

- 混んでる時は目安の時間を知らせてほしいです。あと、カット専門の美容室とかがもっとあったらいいのになと思ってます。（パーマ剤の臭いで気分が悪くなるから。）
- 待てない。健常な方に迷惑をかけたくない。
- 発達障害に理解のある理容師のかたは、特別に配慮してくださるので、安心できます。子供が小さい頃は、たまたま知人に発達障害に理解のあるお母さんがいたので、わざわざ遠くまで連れて行き、特別な時間を設けていただき、散髪してもらいました。今では青年になり、おやじと一緒にいつも行ってます。一般の方と同じようにかっこよく綺麗に散髪はさせたいです。
- 極力、気負わず自然に入れ、自然に過ごせる雰囲気づくりをお願いしたい。仕切りなどで、他のお客さんから見えないようにする工夫がほしい。よりリラックスできると思うので。
- 相性があって、うまくいく人といかない人がいました。混んでいる時など、難しいこともありますが、うまくいく人を覚えていただいて、息子にうまく回していただけるので助かっています。小さい頃のキッズカット専門店は、おもちゃやテレビでうまくいくかと思いましたが、店員さんが遠慮した切り方しかできず、満足できませんでした。
- うちは療育機関的なところに協力してもらい、店の前に行く、店に一歩入る、ぐらいのスモールステップで 1 年ぐらいかけて練習して行けるようになりました。最初はシャンプーもままなりませんでしたが、経験で見通しが持てるようになり、今は顔そりも大丈夫です。ウィーンと音がする機械を見ただけで逃げ出していたかつてから比べたら夢のようです。訪問も考えましたが慣れてしまえば床屋に行くのはいいと感じます。
- 髪型を説明することが難しく、今もスポーツ刈りにしています。顔に髪の毛がふれることが嫌だとの面もあります。成人しているので、床屋さんでの対応が楽になりましたが、学齢期は大変でした。カットの流れを絵カード（写真）で事前に説明してもらったり、次は何をするのかを「声かけ」してもらうと安心できるかと思います。何度か経験を重ねると本人の中でルーティンができて対応もスムーズになるかと思います。
- 自閉症でこだわりが強く、初めて入店した時に座った椅子にしか座らないし、初めての時に切ってくださった方にしか髪を切らせない、触ってもらいたくないと思っている。そのような特徴を理解してほしい。
- 幼児の時は、知らない所へ行く不安や、感覚過敏が強く自宅でカット（寝ている間、入浴中）小学校ぐらいから、親戚の店で段階を経て練習（最初は店に入るだけ、次は前髪だけ、次は 10 分と段々慣らしていく、数回繰り返すと 45 分じっとしていられるようになる）それでも、日によっては落ち着かなかったり、お菓子持参などでごまかしながら、すすめる日もある。18 歳の時、今まで通った所と違う店に代わることになったが、一対一の店で障がい理解のある美容師さんなので、意外とスムーズに変更できた。機嫌の悪いときは、早めに終了していただいたり調整してくださる。障が

いのことを理解して配慮していただけることが何よりもありがたいです。

- 対一の空間をゆっくりと作ってあげてほしい。
- 療育センター等に来てもらってヘアカットもしてもらいたい。
- その場所や人に慣れるまで、時間がかかるので、１度で完了出来ない場合の料金を割引していただけると本当に助かります。また、何もせずにただ数分散髪台に座って終わり、次は髪をとかして終わり等、段階を追って慣れて行けるような配慮をいただけるとありがたいです。儲けにならなくて本当に申し訳ないのですが、回数経験させてあげて、安心出来る場所・担当さんだと納得させてあげて下さい。人によっては同じルーティーンでないと散髪台に乗れない、カット出来ないなどのこだわりを持つ人も居るので、ご理解下さい。うちの子は１人で座って、あまり動かなくなるまで、親が切った髪の毛まみれになりながら身体を支えて、声掛けして、安心させ、指示を分かりやすく子どもに伝えて慣れさせました。また、こちらもご無理を言うので忙しい時間帯を避け、子どもの障害に理解のある理容室を探しました。お蔭さまで現在は自分で予約電話をして、１人で通えています。多少の変な言動は上手く対応頂いているようです。周りの方々のご理解の賜物と感謝しております。
- 仕上がりの写真や髪型を選べる様な写真などがあると、本人が安心すると思います。
- 本人が慣れてくれると普通に出来るようになります。最初に怖い事や嫌な事では無いと理解させるのが大事だと思います。最初は短い時間だけとか、出来る事だけとか、親はそんな気持ちでチャレンジしてました。
- ２人以上のお客様を掛け持ちする制度がある美容院が未だ多いので、少しでもマンツーマン制を導入する美容院が増えてくれたら嬉しい。
- 早く切って、話し掛けないで欲しい。優しく触って欲しい。
- 障害のある人もカットできる美容師がいるのは知っていますが、重心の方ではなく自閉症スペクトラムのような感覚過敏の人に対応できる方が増えて来ると良いな、と思っております。
- じっと出来ずに店員に叱責されたことがあります。目に見えない障害故に簡単に伝える方法だったり、障害者 ok みたいな分かりやすい表示があれば、お互い困らないのかなと思います。
- 電話が苦手なのでネットで予約できるところに行っています。
- 小学校の下校途中トイレに行きたくて泣いている娘に、店からわざわざ外に出てきて声をかけてトイレを貸してくださったのがきっかけで、10 年前から行っている理容室です。娘なので美容室に変えた方がいいかと思ったことがありましたが、本人が落ち着いてカットできるので、2 ヶ月に 1 回行っています。長時間座っているのは辛いかと思い、まだパーマをかけたことは無いです。本人の希望を確認してはいません。
- 私達が啓発していかなくてはならないように思います。
- 以前はＴＶサスペンスなどが映っているのが嫌で、ＮＨＫにチャンネルを変えてもらっていた。最近はたまたま店長がパニック障害を患っていることで、息子にも理解

があり、気を遣ってくれている。歩いて 10 分ほどのところなので、行く前に電話をして、「今、何人お客さんいる？空いている？」とか聞いてから出かけている。

- 予約制にして、いつも同じスタッフの方に受け持ってもらえると、本人は安心すると思います。理容美容師の養成のカリキュラムに、発達障害の（またはそうと思われる）人への対応を盛り込んでくれたら、と願います。
- 予約をして他のお客様が来られないようにしてもらっていく。散髪する日時を本人に予告、カレンダーに印。かかる時間、どこを触るか視覚的に示す。いつも同じ人にカットしてもらう。はさみのみ。使う道具（はさみ、くし）を本人に使用法を見せてもらう。シャンプー等は無理なので、カットのみ。じっと座れるように椅子にクッションを敷く。カットクロスは駄目な時はせず散髪後着替えを持って行って着替える。前髪は自分で引っこ抜いていたので前髪はハゲ。自傷で怪我の部分があるので散髪しにくい。理容師は話しかけず、持参した表で時間、切る部分を本人に示して見せる。
- 発達障害児を受け入れてくれる理・美容室の情報が欲しい。
- 一年の数回の散髪が息子にとっても私にとっても苦痛で仕方がありません。髪の毛を切る度に痛い痛いと泣き、私も辛くて泣きそうになります。近くに息子がこわがらずに通える美容室や理容室があれば本当に嬉しいことです。
- カットの順番など、視覚的にもわかりやすいものの掲示や、店内の音楽を止める配慮があると嬉しいです。
- 我が家は家族全員、息子もお世話になっている美容院を利用しています。泣かずにスムーズに行けるまで 2 年かかりました。閉店間際の静かな環境でカットなど、配慮してもらったりご理解のある美容院さんです。どうかこういう発達障害のような特性を持った方を受け入れてくれる理、美容師さんや美容院が今後も増えてくれる事を願っています。
- 美容院のスタッフの方が、障害への理解を深めてくれると、将来、もっと障害者が街へ出ていけるようになるとおもいます。
- 発達障害も十人十色。個々の特性を理解してもらえたら助かります。見た目だけでは障害のことなんてわからないほどだったりすると、理解してもらえない辛さがあります。決して怠けているわけじゃないことを、知って頂きたいです。
- 発達障害について知識がないオーナーさんはじっとしてないし嫌がるしで嫌だなぁ…と思ってる方が多い気がします。無理やりするのではなく、その子のペースに合わせてくれたり、ちょっと気持ちを聞いてもらえると、分かってくれたぁと思うと思います。理解してないようで、次〇〇するよ～、〇〇してみる～？は分かりますし、聞いています。楽しく通える美容室が増える事を願ってます…。
- 子供は長い時間をかけて美容師さんが対応して頂いたおかげでカットが出来るようになりました。障害のある人を理解して、取り組んで頂けることがとても嬉しいです。
- 誰もしていない髪形をしています。戦前や戦国時代に近いです。

- 店でさせたいけど、本人がパニックになったときの周りの視線が怖くて行けない。一度体験させてあげたい！
- 今の美容室には、障がいを告知し理解し協力してもらっているので、嫌がる事はあるもののカット出来ています。今後、発達障がいの子も対応します、とゆう様な協会が出来て、加盟店が増えれば、全国的に困っている子ども達もお店でのカットにトライ出来ると思います。発達障がいの知識は無くとも、協力的で理解して対応して下さるお店が増えるといいと思います。
- 予約していきたいが、現実は本人の気持ちがスムーズに予定をこなせて進めたら行ける感じです。通いやすさから、毎回予約のいらない、10 分カットに行くが、毎回担当の人も違うため、中々ハラハラして毎回カットをしてもらう状況です。安心してこの子も私も楽に通える場所があれば、いいなぁ。と思う。
- 私はずっと移動美容室を利用させて頂いてましたが、このような事業所さんがしていてくれてたとは知らなかったです。なので、このような事業所さんがあることに驚きました。スマイルカットさんの存在がもっと多くの障害をもった親御さんに知られるといいなと思います
- 現在は配慮して頂ける店で比較的スムーズにカットできていますが、近隣の店ではそうしたところが見当たらず、予約も必要なため、切ってもらいたい時にすぐ…という訳にはいきません。スマイルカットをお願いできるお店が増えていくといいな、と思います。
- スマイルカットのように、最初はカットできなくても OK で場所も選べるところが近くにできてほしいです。
- 予約するのに電話するのが嫌。ネット予約があれば助かる。
- 予約制で、美容師さんと子供・親のみで音楽は無しで、好きな DVD を見せながらカットさせたい（家でそうしているので）。
- HP などで発達障害児受け入れ可などを記載、また絵カードなどを使用してもらえたらありがたいです。
- 我が家の子供達は障害のない子も全員経済的理由で家庭でのカットです。でも、小学部の卒業式前にカッコよくしてもらいに赤松さんの美容院へ行きました。美容院なんてじっとできないしうるさくするしと諦めてましたが、見通しを持たせてもらい、道具も怖くないことを確認させてもらい、DS も持ったままでいいよ。と言ってもらい、ありがたくカットしてもらうことができました。なかなかこちらの条件に合わせてもらえる事なんてないので、気が楽だったしなんて素晴らしいんだろう！と思いました。この程度なら頑張れる、我慢できる、意外とコレは大丈夫なんだ、など気づいたし、もしかして近所の美容院でも行けるんじゃないかと思わせてくれました。その後も結局経済的理由で家庭でのカットですが、一般の美容院デビューへの経験をさせてもらえた感じでとても嬉しく思いました。こういうお店が増えたら良いのに！
- 障害児でも普通に接することができる美容師さんがいる美容院がもっと増えてほし

い。障害児専門の美容、理容院ができてほしい。

- 本人にも長さを聞いてくれたり、写真を見せて聞いてほしい。こちらがスマホ画面みせている。
- 短時間でささっと綺麗に切ってほしい。
- しょうがいを持っている方も気軽にどうぞと分かりやすいステッカー等をお店前に貼ってあったら利用しやすいです。
- 学校でピースサークルカットをしてくれているので、とても助かっています。初めに、子供の特徴をきいて、理解されてからカットしてくれます。自閉症を理解した美容師さんがされているので初めから怖がらずにできたのが感動でした。怖くないと、慣れてきたら、いつかお店に行けるといいなと期待できるようになりました。将来、いつまでも私がお風呂場でカットするのはタイヘンですからね。
- 以前に断られた事がある。トゥレット症を理解してほしい。
- 美容室でカットやカラーを行っているが、とくに困ったことはなし。ただし、緊張はする。いつも同じ美容室でカットやカラー他をしてもらっている。
- 声が出たりする症状のことを特に気にしないで頂きたいです。
- 毎月定期的にヘアカットしてほしいと思うが、なかなか行こうとしません。一番簡単なカットを選んで、シャンプーせずに家でシャンプーしています。静かな店であっさりとカットだけしてほしいと思っているようです。自己表現が苦手なので写真を示してもらったり、具体的に好みを聞いてもらいたいと思います。（母）
- 前項で書きましたように、身体的特徴についてや本人の気にしていることを何度も話題にされたりしたことがあり、カット自体を嫌な事として感じてしまっていたことがありました。本人も付き添っている親も聞かれたくないことや触れて欲しくない部分は少なからずあると思いますので、少しの配慮をお願いしたく思います。また、希望する髪型を上手く伝えられないことも多々ありますので、手順書などと共に簡単なヘアカタログなどを見て指差しで希望を伝えたり出来たら大変嬉しく思います。
- 高知県自自閉症協会の会員です。講演会ありがとうございました。ずっと家で私がバリカンでガーガーやってました。お話しを聞いて、背中を押してもらって理容室へ行きました。スムーズに出来ました。もっと早く行けば良かった。と思いました。本当にありがとうございました。心配事が一つ減りました。
- 弟が理容師なので上記の結果ですが、毎回見通しを持たせて（スケジュールなどを用いて）ごほうびを準備して席につかせています。徐々に店で切れるよう、座るだけ→前髪だけなど順を追って閉店後の店内で練習中です。季節や体調も考慮しながらなので、多年計画です。シャワーが苦手なのでシャンプーも難しいため、そちらも課題です。同じように苦労する子供たちのために手助けになればと思い、自分の子供のことを記録したいと考えています。
- 年齢と共におちついてヘアカットが出来るようになり無言の理容師さんでも鏡をみて上手にできています。色々と話しかけて下さると不安もやわらぐ様です。

- 最初にどのような流れで行われるのか説明してくれるとありがたいです。
- 男の子のため毎回私の行きつけの美容室に行って切ってもらうには経済的にちょっともったいないため、私が自宅で切ることもあります。運動会や発表会等行事の前には私のカットではかわいそうなので、美容室で切ってもらいます。私の行っている美容室では何匹か猫がいて、その猫をさわりに行くのも楽しくて、美容室に楽しく行っています。
- どこの理容室・美容院で受け入れ可能なのか情報がほしい。
- まだ幼い頃（0～3 才）は泣いたり少しあばれてもママだっこが可で、美容室の方も寛容だったように思いますが、体も大きくなるとやはり泣き叫ぶだけで敬遠されがちです。我が家の場合はかみを切ったらその後は「カッコヨクなった！！」と自負もあり(笑)、きっとかみを切ること自体は嫌いではないようなので、落ちついた環境で恐怖心無くかみを切る経験ができれば（なれもあるのかな）克服できるのかな・・・と思っています。いつか大きくなった時、自宅バリカン坊主頭だけではなく色々な髪型を楽しめるようになるといいな・・・と思います。
- 髪の毛が切れるようになるまで、スモールステップ（月 1 回通う）で、少しずつ恐怖心をなくし、髪の毛を切ることはこわくない、痛くないという経験ができると助かる。
- 不安なくカットしてもらえたらと思っています。はさみやバリカンを使うこともあり、動くと危険なことわかっています。よりおちついてカットしてもらえたら助かります。バリカンの音が苦手でした。はさみで切り落とされた髪の毛を元へ戻そうとする行為がみられます。喪失感があるようです。そんな気持ちを抱きながら生きている子たちがいることを理解してもらえたらと思っています。
- もっと小さい頃は髪切りが苦手で（切っている時の感覚がイヤだった）美容室で切るのは無理でしたが、最近やっと泣かないようになったので美容室に行ってみました。とてもやさしく、声がけしながら切ってもらって、とても助かりました。ユーチューブを見ながら切ってもらったのですが、本人が自分の容姿に興味がないので、切っている途中も終わった後も一度も鏡を見ずに帰ろうとするため、せっかく切ってもらったのに申し訳ないと思いました。でも家の方が落ち着くようで、基本、家で切っています。
- カットの時、DVD など見れると良い。担当の人に慣れたら、あまり担当者がかわらない。個室があればありがたい。
- 数回、美容室でのヘアカットをすることはできたのですが、本人の苦手なことなどの状況や、ドライヤーの音がこわいので使用しないでほしいと事前にお願いしていたのですが、美容師さんが切った髪をはらう動作の過程で声掛けなくドライヤーを使用してしまい、いすの一番高い位置からびっくりして落ちてしまいました。けが等もなかったのですが、行きづらくなってしまい家庭でカットするようになりました。お忙しい中とは思いますが、動作の中で声掛けなども気にかけて頂けるとカットされる側もより安心して気持ちよく通えます。

- 他のお客さんに迷惑がかからないよう、一人の時間（空間）があるといい。始まりと終わり、内容を目で見てわかるような表示があるといい。
- お姫様グッズが好きなようなので、店内や鏡などにキラキラした物など、かわいらしいものを置いたり飾ったりしていると、また行きたくなるようです。（6 歳の娘の意見より）
- 素人の散髪で、大変みすぼらしく、かわいそうに思います。かといって理容店に行くのはほとんど無理だと思うので、通所・通学先での訪問理美容があると助かります。
- 今からする事を具体的に、その都度話していただけると有り難いです。また、苦手な物（うちの場合はドライヤー）を使わないでほしいなどの要求を聞いてくださると行きやすくなるかと思います。
- 予約はしたくない。予定に縛られるのがいや。電話したくない。予約したところで変更してしまう。連絡がしたくない。
- 支援学校に来ていただいてカットしてもらえて助かっています 。娘の様子を見ながら、その時の気持ちに合わせてカットしていただけるので親としては安心してお願いできます。
- 低学年の頃、一度美容室で過度に緊張して、話しかけられることに対しても上手くコミュニケーションがとれないことでのスタイリストの方の微妙な反応など、とにかく良い経験にできずその後から拒否するようになりました。不登校でもあり、学校とか友人とかの類の話題を振られることも不安なのだと思います。本人たちが信頼して末永く足を運んでいける担当者が見つかるまで連れて行くにしても、生じる心理的なリスクが怖くて母としても連れて探す気になれないです。
- 落ち着きがなく、話し続ける息子。今の美容師さんは自宅で美容院をしています。優しくて、面白くて話を聞きながら笑顔で、接してくれます。本当に、心が救われます。
- 子どもの特性に配慮して頂けると嬉しいです。
- 美容室でかっこいいヘアスタイルにしてみたいです。
- 見通しがつかないと、不安になることを知ってほしい。
- 1000 円カットのお店は我慢する時間が短くてオススメです。それでも時間がなくてたいてい自分で切っておりますが。
- 障害特性にもよりますが、予約で待ち時間がなくスピーディに散髪ができる環境が好ましいです。障害がある子供がお店で抵抗なくカットができて、理容・美容師の方にもっと障害者に対し抵抗なく理解を深めてほしいと思います。あと、シャンプーや顔そりなどができないので料金もその分安いと正直助かります。
- 発達障害の有無等初めに聞いて貰えると助かります。また、多少理解頂けると嬉しいのですが、そこまで期待してはいけないのかなとも思っています。
- 理容室でもヘアスタイルのカタログのようなものがあれば、話し下手な人でも希望のヘアスタイルをお願いできて、もっと気軽に利用しやすくなるかもしれません。
- 発達障害について理解のある美容師さんにカットしてもらってます。このような美容師、お店がもっと増えるといいのになと思います。

- 障害がある子に慣れている美容院に出会うのは本当に大変です。我が家は割高ですが子ども専門美容院でようやく切れるようになりました。様々な事情に出来る限り寄り添って頂けると大変嬉しいです。
- 本人が子供の泣き声が苦手なので、他のお子さんがいない時に利用したい。
- 幼い頃は、理容室では動いて迷惑がかかると思い家でカットしていました。今では、父親、兄が行く理容室に、動くかもしれませんがと、事情を話してカットしてもらっています。家族みんなで利用するお馴染みさんになるのも、一つの作戦かもしれません。
- 動いてしまう方は、理髪店の利用を断られてしまうことが多く、外部資源の利用、スモールステップでの練習が難しい状況がある。発達障害のこと、彼らの苦手なこと、必要な配慮等を理解してくれる理容室が増えるとよいと感じています。
- なんとかカットは美容室でできるまでになりましたが、ここまでくるのに時間がかかりました。時間はとられますが、温かい目で見守って頂けると有り難いです。
- 精神、知的、自閉、発達障害理解ある美容室があればな。
- 新しい場所へ行くのは苦手だったが、今は同じ人に 15 年切って貰っている。その方が独立し、一対一で全て対応してくれるので通えていると思う。この美容師さんの良いと思うところは、私が話さなければ余計な話をしないところ（今はお付き合いが長いので、話をしないことは無い）、ショートカット、似合うように、だけでカットしてくれる。漫画に出てくるキャラクターの髪型にしたい、と言った時も漫画のようには出来ないけれど、イメージに近づけてくれたところ。最初に嫌な思いをしなければ、通える。
- 手話を習って。てのひらことばを読み取って。マスクは、うどん屋の透明マスクにしろ。目をそらす人もいるが、聴覚過敏はこうけいが必要。大声だすな、早口になるな。イラストで流れを説明しろ。眩しすぎる。鏡がおおい。掃除機や両面テープの支給。自分で仕上げたい。切ったあとも洗ってほしい。体調あわすのが大変。予約なしでしたい。ろうしゃと難聴者はちがいます。日本には、障害手帳基準がきびしい。軽度の隠れ難聴者はうじゃうじゃいるぞ。若い美容師は、難聴をわからないから、早口で話す。感音性難聴について勉強すれば、発達障害者の聴覚過敏にも対応できるだろう。難聴でも聴覚過敏と耳鳴りもちは 80%ぐらいだそうだ。
- 人は言葉をしゃべる人に安心します。もちろん前提条件として「暴れない」は、ありますが。音声発語ができず、すべて「ウェー・ウオー」や初対面や面識が少ない人の身振りがわからない場合、「恐ろしい・苦手」な表情をされると、本人も家族も心が折れます。時間や回数（例えば、場になれるためお店に入るだけ練習から・座席に座る練習・今日はここだけカットなど）は、かかりますが、適応させたい・したいと考えていますので、ご協力いただけたらと切に願います。
- 現在、私が行きつけの美容院の美容師さんの兄弟に発達障害の方がいるそうで、理解を持ってくださる為、息子が成長したら行きたいと思ってます。現在、行けないのは息子の多動、不安が強い事だけが問題です。そんな状況だから、思うことですが美容

師さんに、知識がある、理解があってもらえることが大きいかな？と思います。

- 小さい頃は自宅でママカットでしたが…家族が通っている床屋さんに同行しカットして貰う姿を何度か見せて、お店の人にも慣れさせ私がカット用の椅子に座り、膝の上に座らせカットして貰う所から徐々に慣れさせました。
- 美容師さんは若いスタッフの方が多いので、なかなか自分の子どもが発達障害であると言うことを伝えにくい。また、伝えてもわからないこともあるので、難しさを感じます。

そらいろプロジェクト京都 ってこんなところ

そらプロの活動

そらいろプロジェクト京都の知ってほしいこと。
それは美容を通してみんなが笑顔になれる活動。

その1 スマイルカット

発達障がい児の中には、理美容室に行けない子どもがたくさんいます。
ドライヤーやバリカンの音にパニックを起こしたり、じっと座っていることが苦手だったり、知らないお店に入ることに恐怖を感じる子どももいます。
そんな子ども達が、ゆくゆく理美容室で座ってカット出来るようになるため、一人一人の歩みに合わせて練習していきます。現在、支援学校・児童館・幼児園・自宅などの場所で、スマイルカットに取り組んでいます。
発達障がいを抱える子ども達やその保護者への理解と、カットするためのプロセスを広めるため、大学や美容専門学校での講義・シンポジウム・子育て支援講座・美容業界や福祉関係者向けの講演会を全国で実施しています。

スマイルカットを卒業したお子様には卒業証書を授与しています。

その2 ママにもできる！チャイルドカット

就学前の子どもさんは、小さすぎてサロンで泣いてしまいカット出来ないこともあります。
幼少期の頃は、パパやママが楽しく可愛く、まるで絵本の読み聞かせのように和やかな雰囲気でカットができたら、きっと子ども達は散髪好きになってくれるはず。
そんな想いから、地域の児童館・保育園・子育てサークルなどで、子どもの前髪カット講座を行っています。

その3 星髪戦士ピースマン

美容室や散髪が大好きな子どもを増やすため、また障がいのある子ども達へのサポートと理解を広めるためのヒーロー「ピースマン」。大学生と共同で、各種イベント・保育園・児童館などで、ヒーローショーを実施しています。

その4 ハピハピカット

子どもの貧困。そらプロが架け橋となり、経済や孤立などの事情を抱えている子どもや若者が理美容につながる新たなモデル事業です。

これまでのそらプロのあしあと

2009	ママにもできる！チャイルドカット講座　スタート
2010	スマイルカット　スタート
2012	星髪戦士ピースマン　デビュー
2013	関西テレビ『よーいドン！』“となりの人間国宝さん”認定
2014	NPO法人そらいろプロジェクト京都　設立
	2013年度近畿ろうきんNPOアワード 大賞 受賞
	第11回京都人間力大賞　グランプリ 受賞
2015	自閉症スペクトラム学会　発表
	京都・朝日・読売・北海道・日高報知新聞等 掲載
	KBS京都・αstation 出演
2015	光華女子大学紀要（論文）発表
	第16回北川奨励賞　受賞
	第9回よみうり子育て応援団大賞　奨励賞受賞
	第50回「NHK障害福祉賞」　最優秀賞受賞
	京都新聞・読売新聞等 掲載／NHKニュースNHK・ラジオ出演
2016	スマイルカット実践講習会（北海道・仙台・東京・大阪・北九州・沖縄にて）
	世界自閉症啓発デー 京都タワーライトアップイベント　ピースマンショー
	住友生命未来を強くする子育てプロジェクト　未来賞　受賞
	第4回京の公共人材大賞　最優秀賞受賞
	朝日・読売・産経・京都・日本経済新聞・きょうと市民新聞等 掲載
	KBS京都・αstation 出演

特定非営利活動法人そらいろプロジェクト京都

理事長 赤松 隆滋（あかまつ りゅうじ）

1974年京都市に生まれる。大谷大学文学部哲学科・京都理容美容専修学校・京都美容専門学校卒業。
美容師・理容師。サロン勤務を経て現在ピースオブヘアー・訪問カットピース代表。
2014年4月 NPO 法人そらいろプロジェクト京都設立。
2010年発達障がいの子のヘアカットに携わったことから、以後「スマイルカット」の研究・啓発活動に取り組む。
現在サロンワークの傍ら、大学や美容専門学校での講義・シンポジウム・子育て支援講座・福祉関係・美容業界の講習会等で講演を行う。

そらプロから絵本ができました！

ピースマンの チョキチョキ なんて こわくない!

定価（本体価格1,200円＋税）　久美株式会社

悪い子なんて、ひとりもいない
ワガママではないのです。
私たち大人に大切なことは、子ども達の
“言葉にならない心の声”にどれだけ気づけるか。
この絵本には　赤松の想い、子ども達の笑顔、
そしてそらプロからのメッセージがつまっています。
大切な人と一緒に　ぜひ読んでみてくださいね。

書店やAmazonなど、インターネットでも販売中！

たくさんのメディアに紹介され、さらに広がりを見せています。

詳しくはHPをご覧ください！

ひと協奏

笑顔で散髪 すべての子に

発達障害に向き合う美容師

子供とふれあいながら髪を切る「そらいろプロジェクト京都」の赤松隆雅さん（京都市伏見区）

▲ 日経新聞 2016年6月5日に掲載

発達障害の子 散髪支援探る

中京

NPO、設立記念の催し

発達障害の子どもの散髪への支援について語り合う美容師ら（京都市中京区）

▲ 京都新聞 2014年7月22日に掲載

▲ 第11回京都人間力大賞グランプリ受賞

▲ 第50回 NHK障害福祉賞　最優秀賞受賞　贈呈式

発達障害児に安心の散髪

京都の美容師・赤松さん、浦河で指導

「怖くない」大人が説明を

▲ 北海道新聞 2014年6月18日に掲載

特定非営利活動法人

そらプロ

そらいろプロジェクト京都

特定非営利活動法人 そらいろプロジェクト京都

〒612-8432　京都市伏見区深草柴田屋敷町23-22　http://www.sora-pro.jp/

TEL.075-642-2115　info@sora-pro.jp　loveandpeaceman